

一般国道497号
(西九州自動車道)

伊 万 里 松 浦 道 路

平成18年9月29日

国土交通省 九州地方整備局

目 次

1 . 西九州自動車道について	道路-2-1
1 - 1 高規格幹線道路網の経緯	道路-2-1
1 - 2 事業の概要	道路-2-3
1 - 3 事業の必要性	道路-2-4
2 . 伊万里松浦道路の概要	道路-2-8
3 . 事業の必要性	道路-2-9
3 - 1 事業を巡る社会情勢等の変化	道路-2-9
3 - 2 事業の投資効果	道路-2-26
3 - 3 事業の進捗状況	道路-2-28
4 . 事業の進捗の見込み	道路-2-29
5 . コスト縮減や代替え案立案等	道路-2-32
6 . 対応方針(案)	道路-2-33
7 . 関連新聞記事	道路-2-34
巻末資料（客観的評価指標）	道路-2-38

1. 西九州自動車道について

1 - 1. 高規格幹線道路網の経緯

「第三次全国総合開発計画（昭和 52 年 11 月 4 日閣議決定）」では、全国的な幹線交通体系の長期構想として既定の国土開発幹線自動車道を含め、概ね 1 万 km 余りで形成される高規格の幹線道路網の必要性が提唱された。

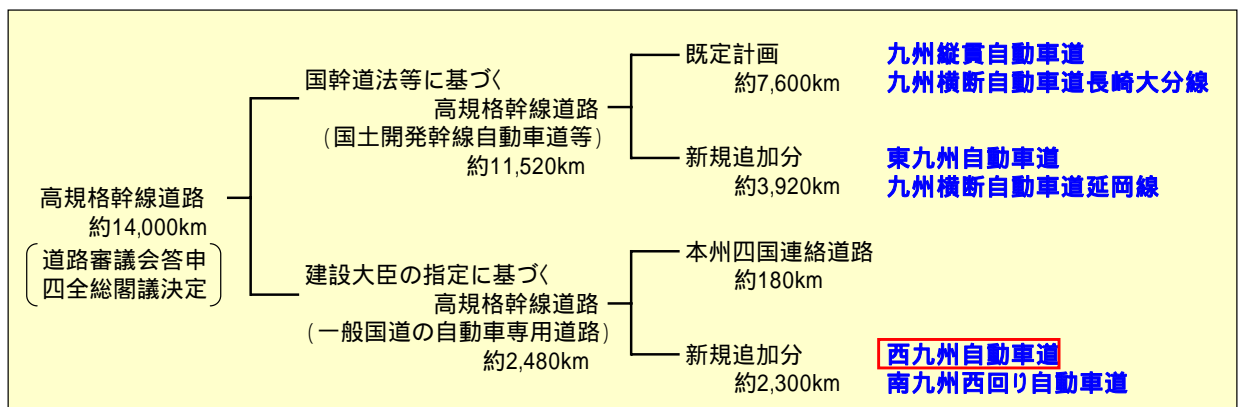
建設省においても、第 9 次道路整備五箇年計画期間内（昭和 58 年度～62 年度）に高規格幹線道路網計画を策定すべく鋭意調査を進めてきた。

これらの経緯を踏まえ、昭和 62 年 6 月 26 日道路審議会答申に基づき、6 月 30 日に建設大臣により、従前の国土開発幹線自動車道等（7,600km）及び本州四国連絡道路（180km）並びに、新たな高規格幹線道網を構成する路線 6,220km を合わせ 14,000km の高規格幹線道路網が定められ、西九州自動車道も高規格幹線道路として位置づけられた。

昭和 62 年 6 月 26 日 道路審議会答申

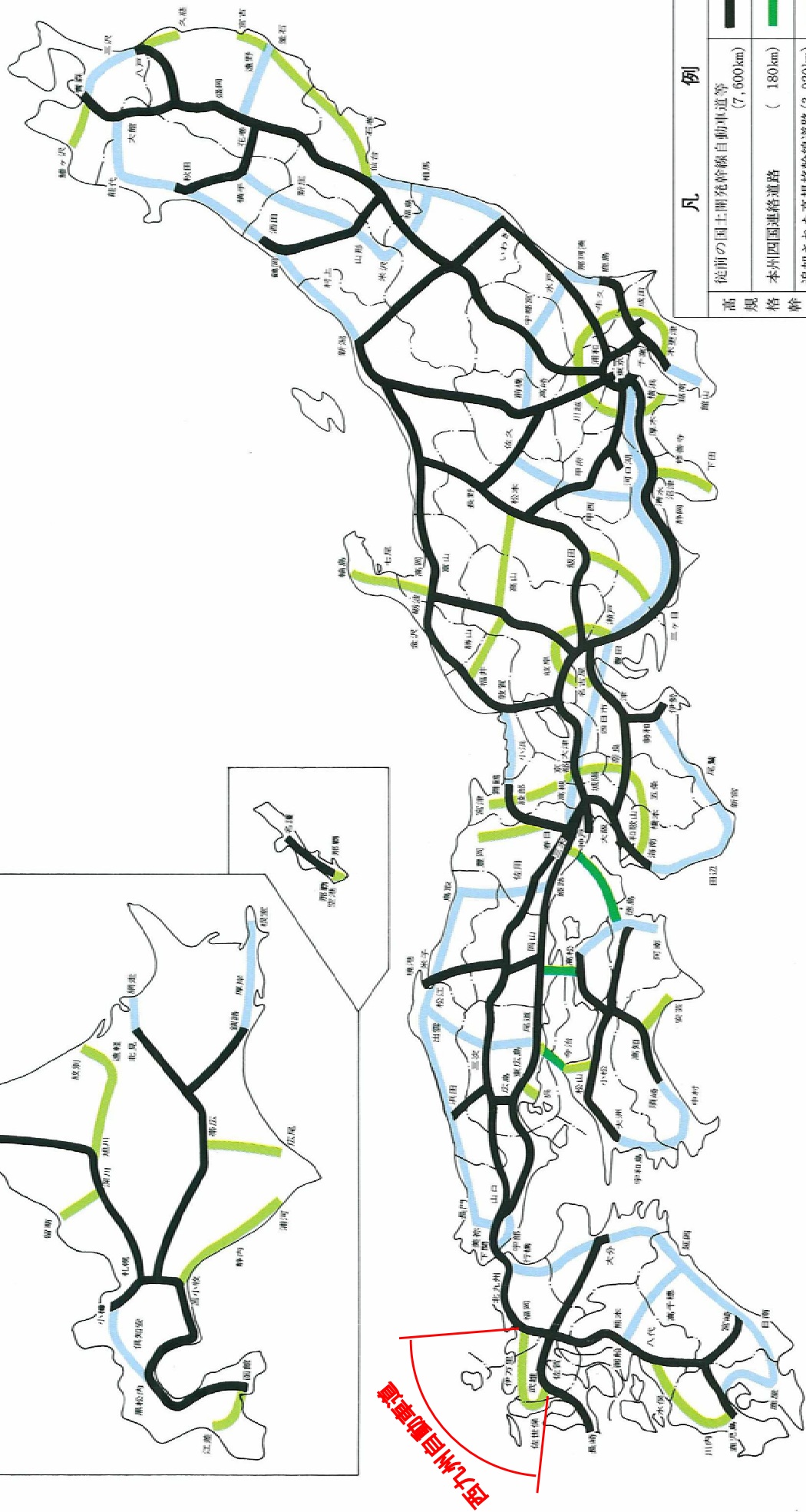
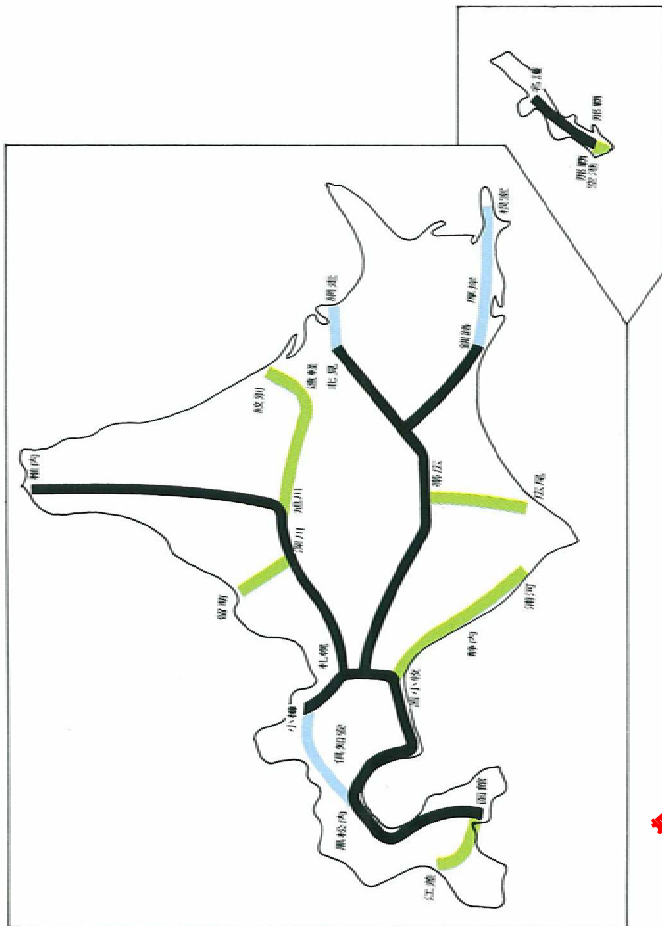
昭和 62 年 6 月 30 日 「第四次全国総合開発計画」閣議決定
～多極分散型国土の形成のため“交流ネットワーク構想”を推進～

昭和 62 年 6 月 30 日 建設大臣により 14,000km の高規格幹線道路網決定
～高規格幹線道路網として西九州自動車道が位置づけ～



高規格幹線道路網の整備体系

高規格幹線道路網計画図 14,000km



凡 例	
高規格幹線道路	従前の国土開発幹線自動車道等 (7,600km)
追加された高規格幹線道路 (3,920km) (国土開発幹線自動車道追加路線)	本州四国連絡道路 (180km)
追加された高規格幹線道路 (2,300km) (一般国道の自動車専用道路)	

西九州自動車道

1 - 2 . 事業の概要

西九州自動車道は、福岡県福岡市から佐賀県唐津市、同県伊万里市、長崎県松浦市、同県佐世保市を經由して、佐賀県武雄市に至る延長約 150km の自動車専用道路である。

この内、福重 JCT～前原 IC 間(今宿道路の一部区間)、浜玉 IC～唐津 IC 間(唐津道路の一部区間)、武雄南 IC～佐世保みなと IC 間(武雄佐世保道路と佐世保道路の一部区間)等約 65km が供用しており、全体延長の 43%となっている。また、現在 74km (全体延長の 49%) が事業中であり、西九州自動車道の約 9 割が供用もしくは事業中区間となっている。

西九州自動車道 L = 150 km



1 - 3 . 事業の必要性

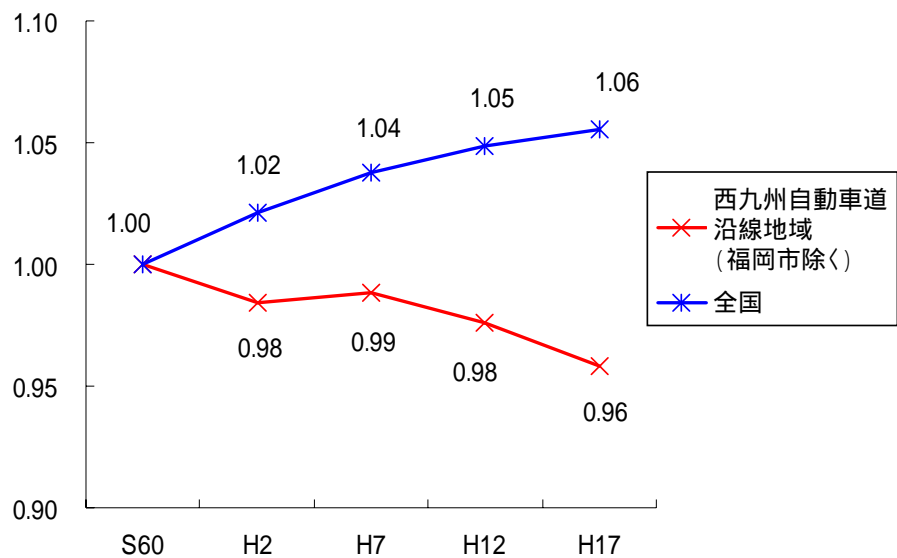
(1) 西九州自動車道沿線地域における社会経済情勢の変化

周辺環境の変化

我が国の人口は、高規格幹線道路網の指定が行われた年次（昭和 62 年）に近い昭和 60 年以降増加している。一方、福岡市を除く西九州自動車道沿線地域では、昭和 60 年以降人口は減少しており、昭和 60 年から平成 17 年にかけて約 4% 減少している。

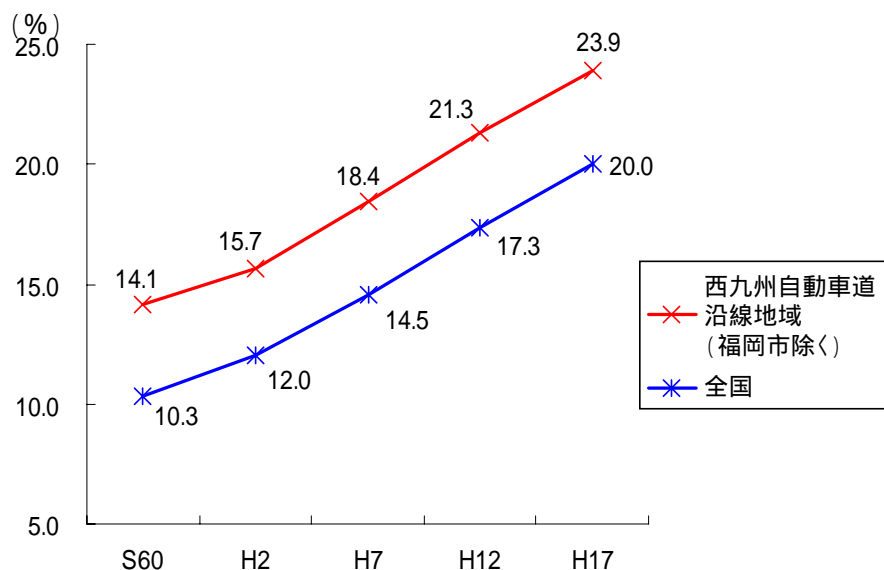
また、福岡市を除く西九州自動車道沿線地域の高齢化率は、昭和 60 年以降全国平均を 4% 上回る状態が続いており、全国的に高齢化が進展している地域であるといえる。

このように、西九州自動車道沿線地域は、全国と比べ格差が拡大してきている現状にある。



総人口の伸び

資料：国勢調査



高齢化率の推移

資料：国勢調査、推計人口

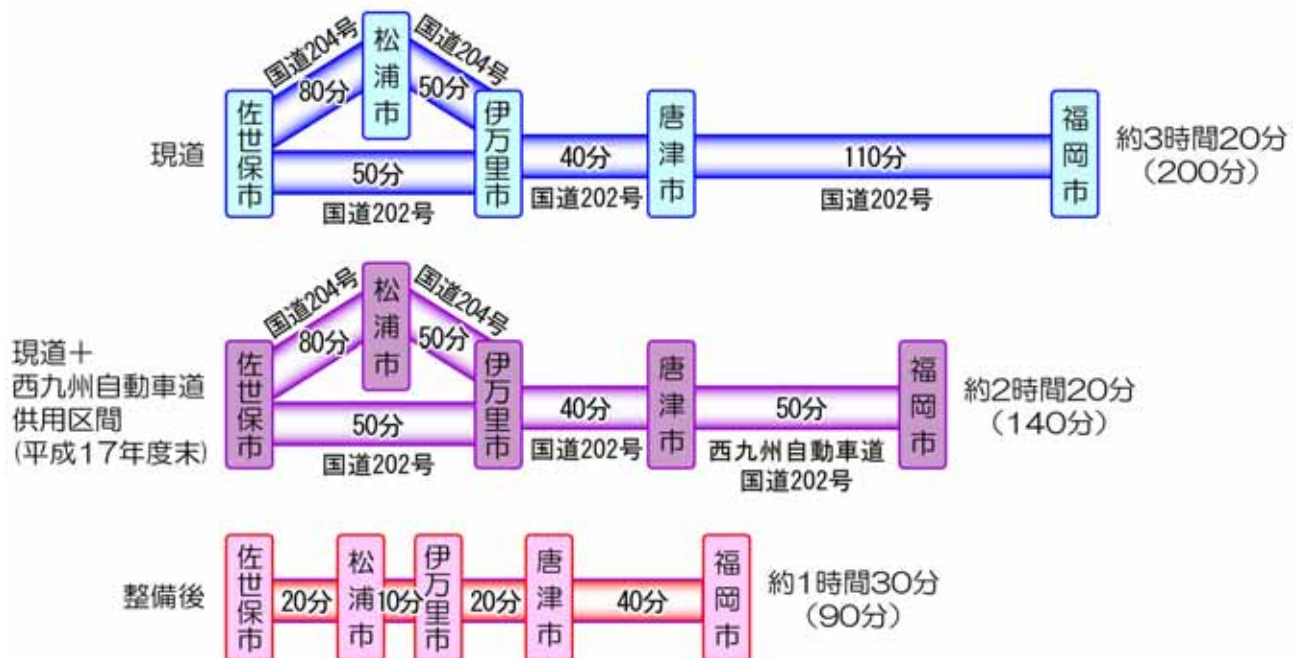
事業の効果・必要性

効果・必要性1:地域間の交流連携の支援

西九州自動車道の整備により、福岡市から佐世保市間の所要時間は、現道利用の3時間20分→1時間30分へと約110分短縮され、地域間の交流連携を支援する。

西九州自動車道沿線には、福岡市、唐津市、伊万里市、松浦市および佐世保市の主要都市が存在しているが、これら都市間の現況所要時間は最低でも40分以上を要し、福岡市～佐世保市間の現道を利用した所要時間は約3時間20分となっている。

西九州自動車道整備により、福岡市～佐世保市間の所要時間は現道利用の約3時間20分→約1時間30分へと約110分短縮され、地域間の交流連携を支援する。



現在：渡辺通りと交差する国道202号を起点とし、各都市間は想定しているそれぞれのIC予定地付近との時間。
 整備後：天神北ランプを起点とし、各都市間は各IC予定地との時間。1種2級100km/h、1種3級80km/hで算出。

西九州自動車道沿線主要都市間の所要時間の変化

資料：H11 道路交通センサス

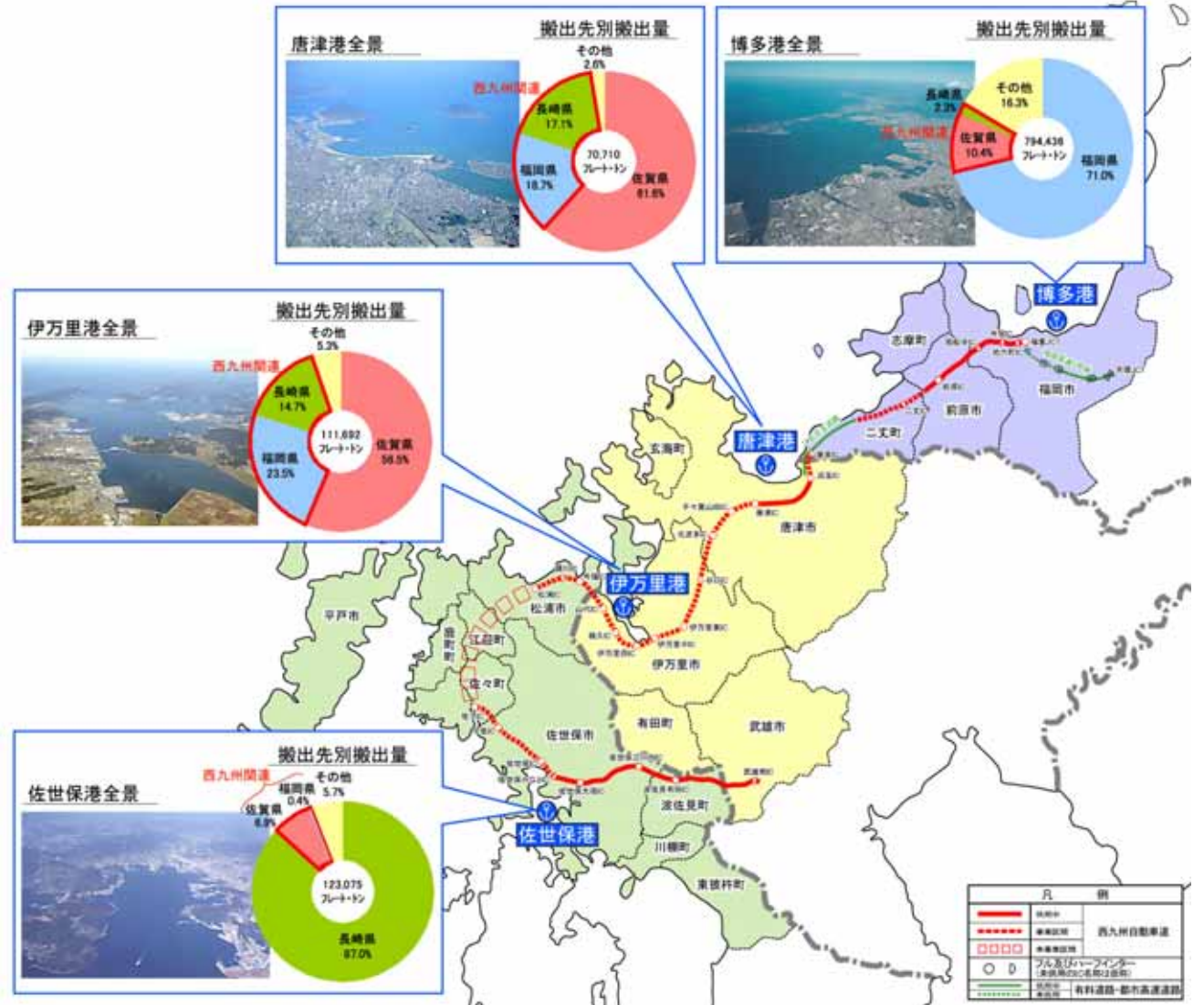
効果・必要性2：物流の効率化支援

西九州自動車道沿線には、特定重要港湾「博多港」、重要港湾「唐津港・伊万里港・佐世保港」が存在する。これらの港湾で陸揚げされた貨物は、県内のみならず西九州自動車道沿線方向へ搬出され、特に、唐津港・伊万里港における搬出量の約4割は、西九州自動車道沿線への搬出である。
西九州自動車道の整備により、広域的な物流の支援が期待される。

西九州自動車道沿線には、特定重要港湾「博多港」および重要港湾「唐津港・伊万里港・佐世保港」が存在する。

博多港は中枢国際港湾に指定されており、九州一のコンテナ取扱量を誇っている。また、伊万里港は、平成17年、コンテナ取扱量が博多港、北九州港に次ぐ九州3位に躍進しており、西九州自動車道沿線には海外との物流の玄関口となる拠点港湾が連なっている。

港湾で陸揚げされた貨物は、県内のみならず、西九州自動車道沿線方向に搬出され、特に、唐津港・伊万里港搬出量の約4割は、西九州自動車道沿線への搬出となり、西九州自動車道の整備は、これらの広域的な物流の支援が期待される。



西九州自動車道沿線の特定重要港湾・重要港湾

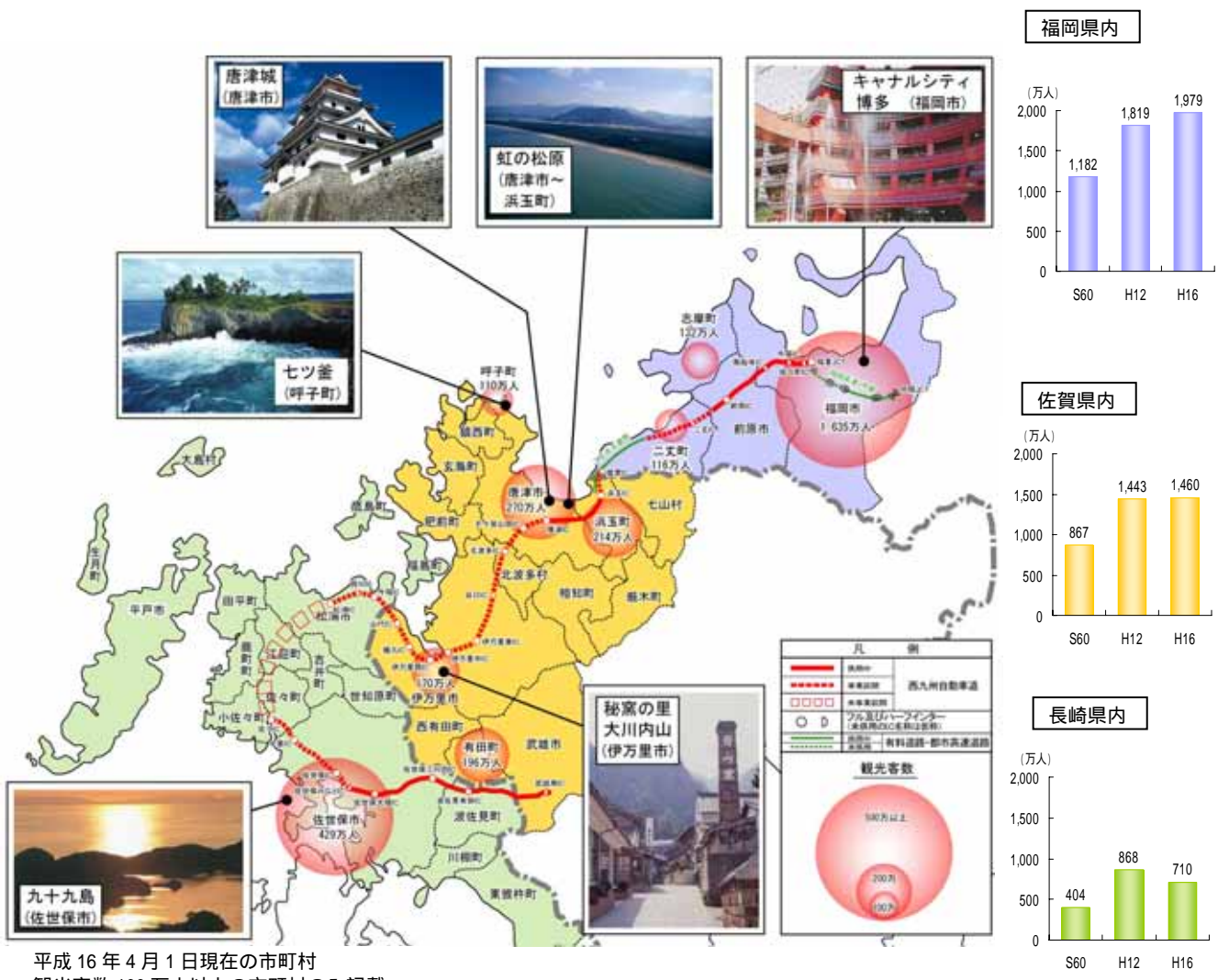
資料：九州地方整備局港湾空港部 HP
平成17年陸上出入貨物調査

効果・必要性3：活力ある地域づくりの支援

西九州自動車道沿線には、福岡市、唐津市、伊万里市、佐世保市など観光客が100万人を超える市町村が点在しており、昭和60年以降観光客数が増加傾向にある。西九州自動車道の整備により、九州北西部を連絡する新たな観光ルートが形成されるなど、観光活性化の支援が期待される。

西九州自動車道沿線地域には、福岡市、唐津市、伊万里市、佐世保市など観光客が100万人を超える市町村が点在している。昭和60年以降、福岡県、佐賀県の西九州自動車道沿線地域では観光客数が増加、長崎県の西九州自動車道沿線地域ではS60 H12は増加しているものの、H12 H16は減少している。

西九州自動車道が整備されることにより、沿線の観光拠点間のアクセス性が向上し、九州北西部を連絡する新たな観光ルートが形成されるなど、観光活性化の支援が期待される。



西九州自動車道沿線の観光客数の分布(H16)と推移

資料：佐賀県観光客動態調査、長崎県観光統計、福岡県観光入込客推計調査、西九州自動車道パンフレット、唐津道路パンフレット、伊万里市観光協会 HP

2. 伊万里松浦道路の概要

(1) 概要

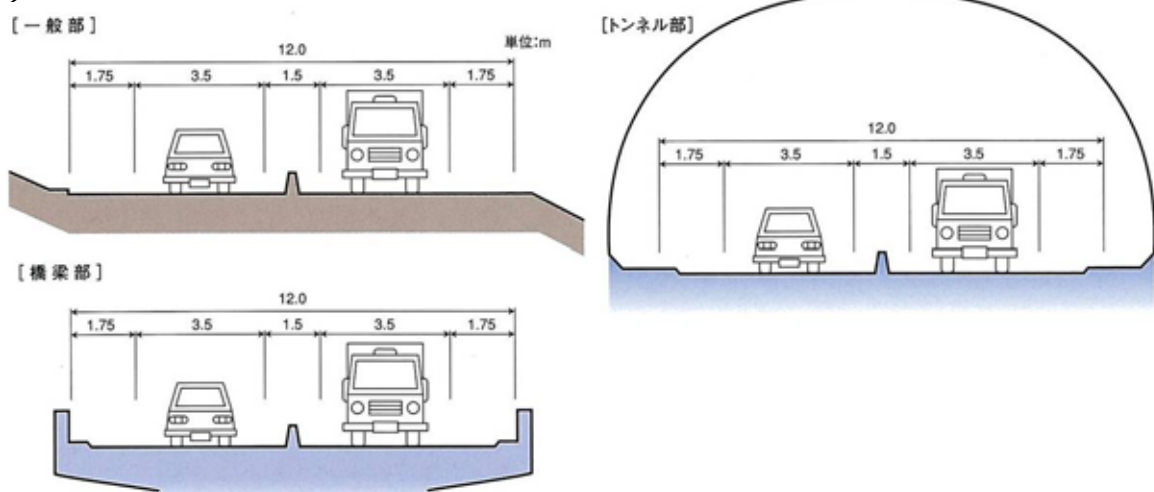
伊万里松浦道路は、西九州自動車道のうち、佐賀県伊万里市～長崎県松浦市を結ぶ延長 17.2km の自動車専用道路である。

本道路は、九州北西部の広域的な連携を図り、地域の活性化に大きく寄与するとともに、当該地域の主要幹線道路である一般国道 204 号の代替路線としての機能も有する。

(2) 道路の緒元

起 点：自) さがけん い まり し ひがしましるちょう 佐賀県伊万里市東山代町
 終 点：至) ながさきけんまつうらしし さ ちょう 長崎県松浦市志佐町
 延 長：17.2km
 車 線 数：2 車線
 道路規格：第 1 種第 3 級
 設計速度：80km/h

(3) 標準断面図



今福IC(仮称)予定地付近



路線概要図

3 . 事業の必要性

3 - 1 . 事業を巡る社会情勢等の変化

(1) 前回評価時からの周辺環境の変化

市町村合併

伊万里松浦道路沿線地域では、平成 18 年 1 月 1 日、松浦市、鷹島町、福島町の 1 市 2 町が合併し、新松浦市（人口約 3 万人）が誕生している。

また、平戸市が平成 17 年 10 月 1 日に大島村、生月町、田平町と合併、有田町が平成 18 年 3 月 1 日に西有田町と合併している。

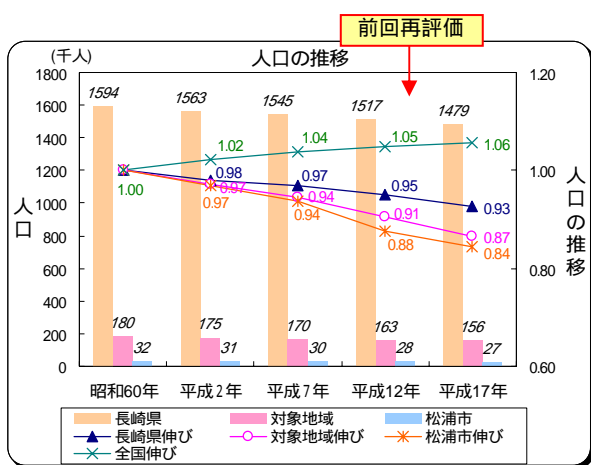


伊万里松浦道路沿線地域における市町村合併状況

人口動向

昭和60年から平成17年の人口伸びをみると、全国では増加傾向、佐賀県横這い傾向、長崎県減少傾向にあり、対象地域全体では昭和60年 平成17年に1割以上（再評価年に近い平成12年からは4%）の人口減少傾向にある。特に松浦市の人口減少が顕著となっており、昭和60年 平成17年に16%、平成12年 平成17年に4%減少している。

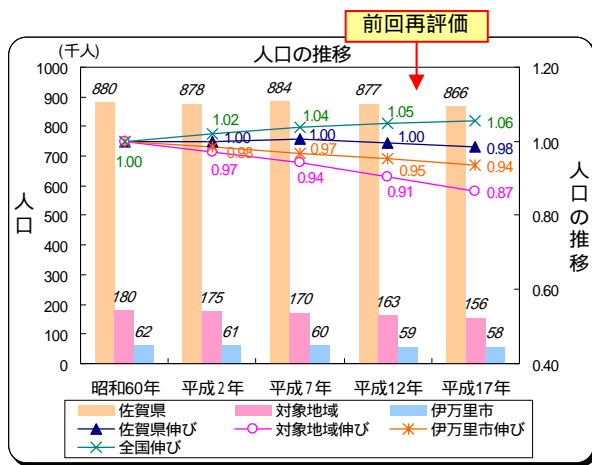
高齢化率の変化については、佐賀県、長崎県ともに全国平均を上回る高齢化率で推移しており、人口減少が大きい対象地域全体の平成17年高齢化率は約27%と、全国平均より約7%高い水準である。特に、松浦市の高齢化率が高く平成17年は28%、平成12年 平成17年に3%向上している。



H18.04 時点市町村で集計
対象地域は伊万里二次生活圏及び北松二次生活圏

人口の推移 (長崎県)

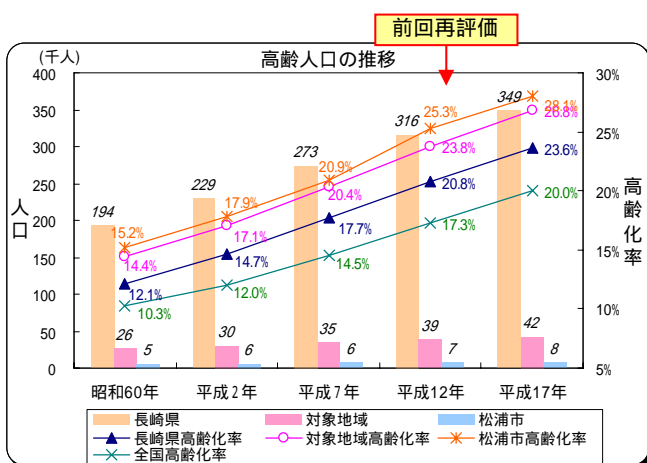
資料：国勢調査



H18.04 時点市町村で集計
対象地域は伊万里二次生活圏及び北松二次生活圏

人口の推移 (佐賀県)

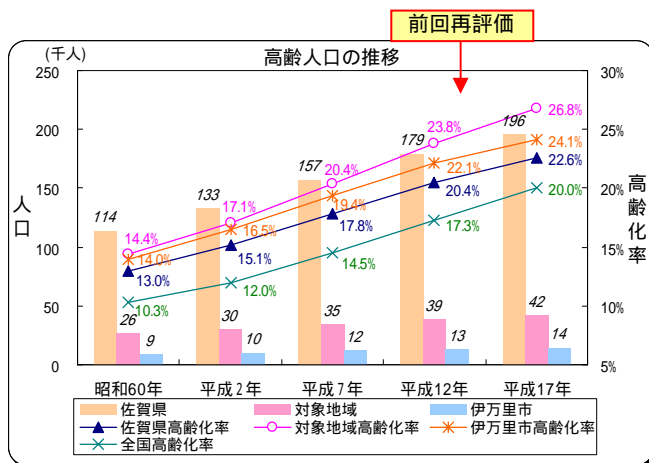
資料：国勢調査



H18.04 時点市町村で集計
対象地域は伊万里二次生活圏及び北松二次生活圏

高齢人口および高齢化率の推移 (長崎県)

資料：国勢調査、人口推計



H18.04 時点市町村で集計
対象地域は伊万里二次生活圏及び北松二次生活圏

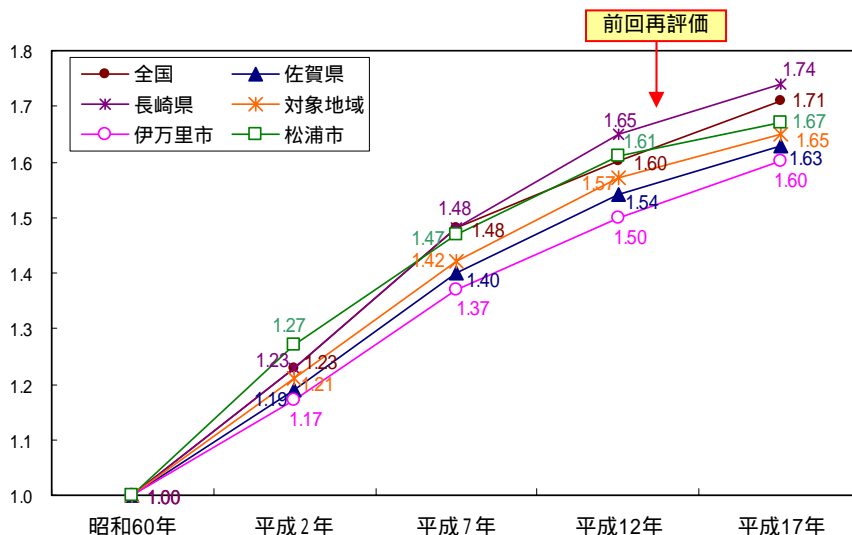
高齢人口および高齢化率の推移 (佐賀県)

資料：国勢調査、人口推計

自動車利用状況

伊万里市、松浦市ともに人口が減少しているにもかかわらず、自動車保有台数は増加しており、松浦市は昭和60年以降61%（再評価年に近い平成12年から4%）の増加、伊万里市でも60%（平成12年から6%）もの増加となっている。

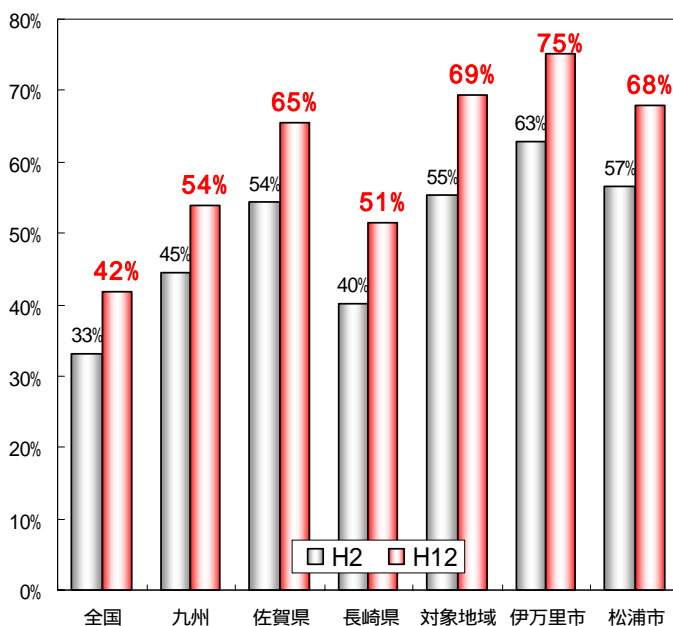
また、対象地域の平成12年通勤・通学時の自動車分担率は69%と全国・九州平均を大きく上回り、特に伊万里市では75%と自動車分担率が高い状況となっている。平成2年と比較すると、対象地域で14%（55%→69%）と大きく増加しており、自動車への依存が高まっている。



H18.04 時点市町村で集計
対象地域は伊万里二次生活圏及び北松二次生活圏

自動車保有台数の推移

資料：市区町村別自動車保有車両数



統計年次の市町村で集計
対象地域は伊万里二次生活圏及び北松二次生活圏

通勤・通学時自動車利用割合の変化

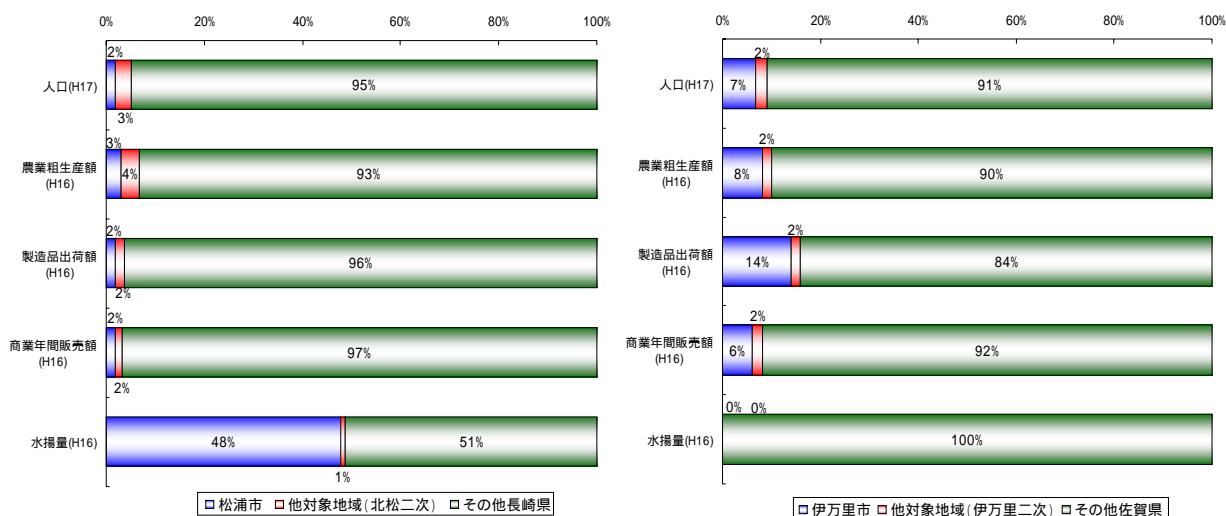
資料：国勢調査

産業特性

対象地域の各種生産額の全県シェアを人口割合と比較すると、伊万里市は製造品出荷額、松浦市は水揚量の割合が高くなっている。

製造品出荷額の伸びを見ると、伊万里市は平成16年/昭和60年比2.36倍(再評価年に近い平成12年からは31%の増加)と特に高い。また、水揚量は、減少傾向にある中、松浦市(松浦港)の減少幅は、佐賀県、長崎県に比べて小さく、さらに平成12年-平成16年は21%増加している。

このように、伊万里市は製造業、松浦市は漁業に特徴のある産業構造となっている。

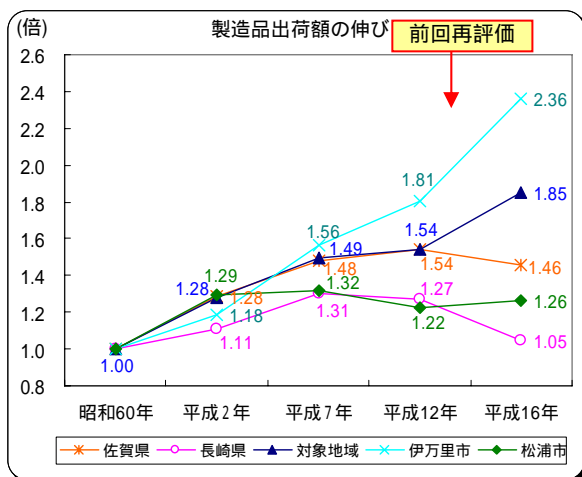


H18.04 時点市町村で集計

水揚量は漁港が位置する市町村で集計

人口および産業生産額、水揚量別の対全県シェア(長崎県・佐賀県)

資料: 国勢調査、生産農業所得統計、工業統計調査、商業統計調査、産地水産物流通調査

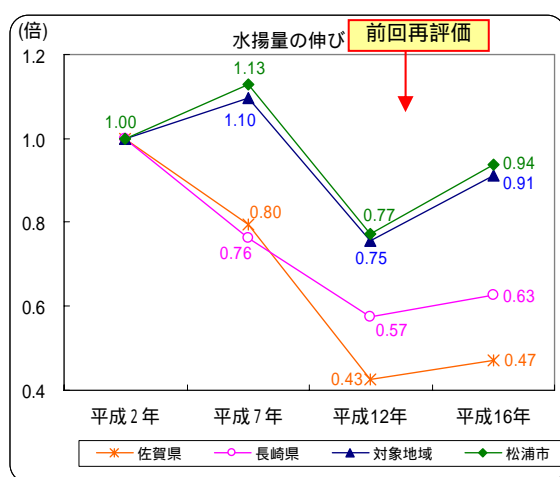


H18.04 時点市町村で集計

対象地域は伊万里二次生活圏及び北松二次生活圏

製造品出荷額の伸び

資料: 工業統計調査



H18.04 時点市町村で集計

対象地域は伊万里二次生活圏及び北松二次生活圏
水揚量は魚類・水産動物類のみを対象として、漁港が位置する市町村で集計

水揚量の伸び

資料: 産地水産物流通調査

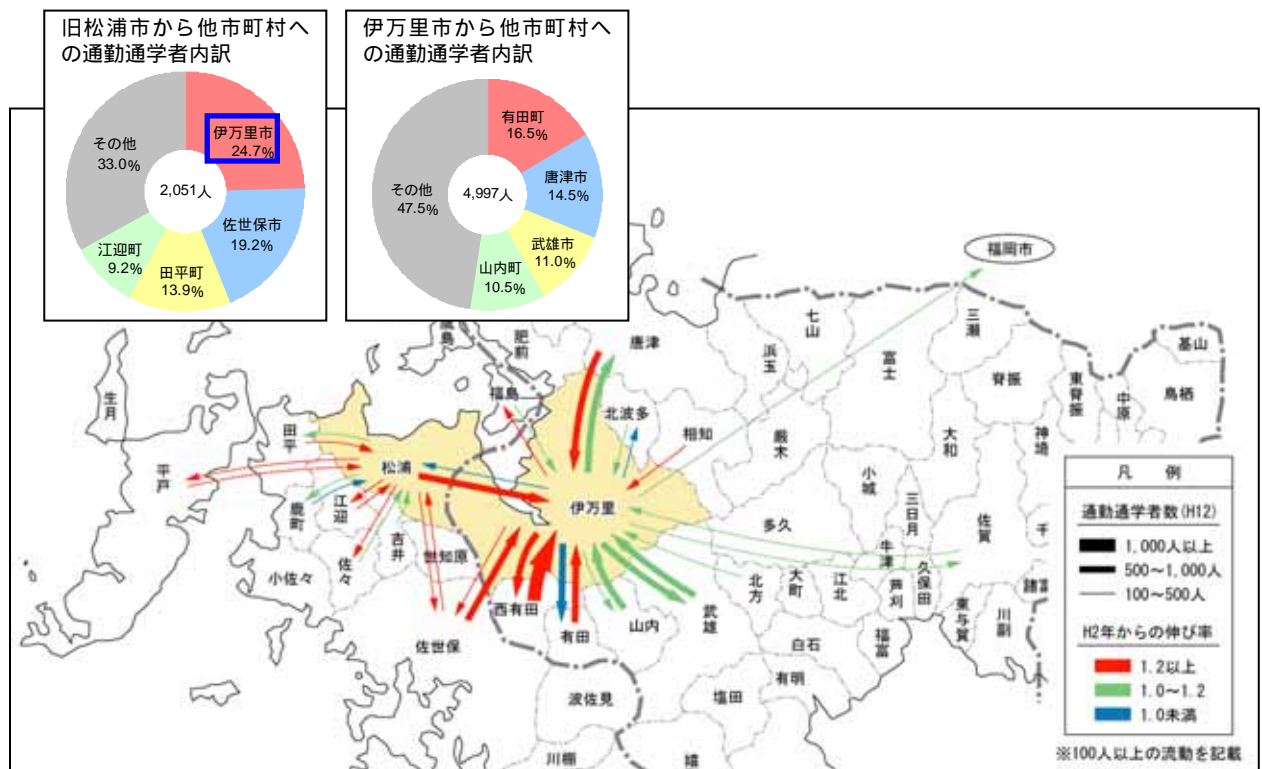
(2) 事業の効果・必要性

効果・必要性 1 : 地域間の交流連携の支援

旧松浦市と伊万里市との通勤通学面での結びつきは高まる傾向にある。
伊万里松浦道路の整備により、松浦市から伊万里市までの所要時間は 47 分 13 分に短縮 (34 分短縮) し、地域間交流の活性化が図られる。

旧松浦市から他市町村への通勤通学者のうち、伊万里市への通勤通学者が最も多く約 25% を占めている。さらに、平成 2 年以降 20% 以上増加するなど、旧松浦市と伊万里市との通勤通学面での結びつきは高まりつつある。

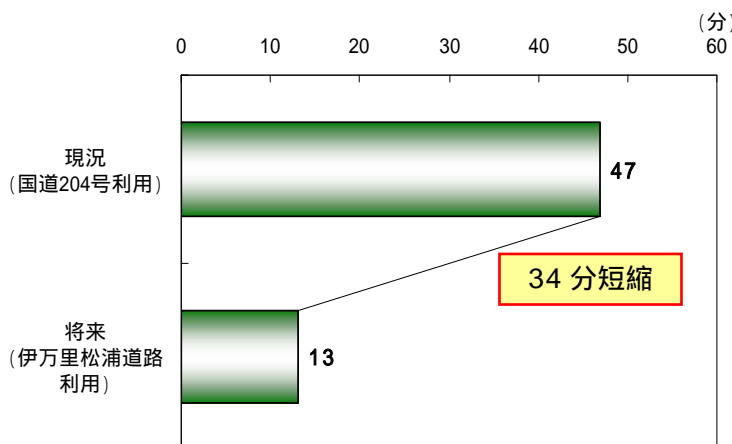
伊万里松浦道路の整備により、松浦市と伊万里市との所要時間は 47 分 13 分と 34 分短縮することになり、地域間交流の活発化が図られる。



H12.10.01 時点の市町村

旧松浦市・伊万里市に関連した通勤通学流動(H12)

資料：国勢調査



想定している IC 予定地付近との時間 (松浦 IC ~ 伊万里西 IC)。将来は、1種3級 80km/h で算出。

松浦市 ~ 伊万里市の所要時間変化

資料：H11 道路交通センサス

効果・必要性2：物流の効率化支援

広域的な物流の支援

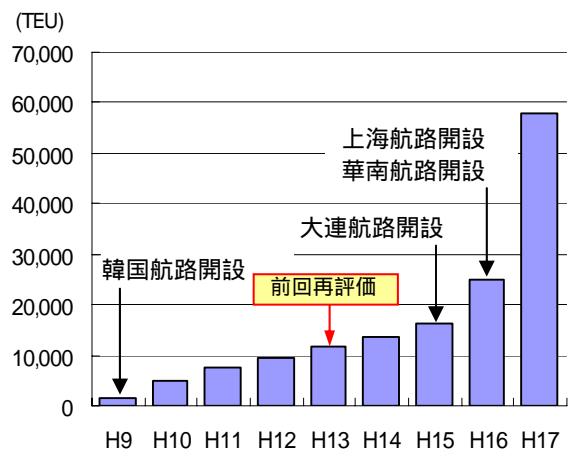
伊万里松浦道路沿線の伊万里港は、アジアとの国際定期コンテナ航路開設に伴いコンテナ取扱量が急増し、平成 17 年度のコンテナ取扱量は、九州第 3 位となった。増加するコンテナ貨物への対応を図るべく、七ツ島地区多目的国際ターミナル整備を進めている(平成 26 年度供用開始)。

伊万里松浦道路沿線の伊万里港は、アジアの主要都市に近接しており、平成 9 年に韓国・釜山とを連絡する国際定期コンテナ航路の就航を皮切りに、平成 15 年に大連航路、平成 16 年に上海航路及び華南航路が就航している。国際定期コンテナ航路の開設に伴いコンテナ取扱量が急増し、平成 17 年度のコンテナ取扱量は、福岡、北九州に次ぐ九州第三位を誇るまでに至っている。

このように増加するコンテナ貨物への対応を図るべく、平成 26 年度の供用開始に向け、七ツ島地区では多目的国際ターミナルの整備が進められている。



伊万里港国際定期コンテナ航路
資料：2005 伊万里港事業概要



伊万里港コンテナ取扱量の推移
資料：伊万里港港湾統計年報
(H17 は速報値)



資料：伊万里港七ツ島地区多目的国際ターミナル整備事業再評価資料
七ツ島地区の岸壁整備状況

水深	延長	バース数	対象船舶	国外・内	主な取扱貨物	備考
-13.0m	260m	1	40,000ト	国外	木材関係コンテナ	工事中
-9.0m	160m	1	10,000ト	国外	コンテナ	154mで暫定供用中
-7.5m	260m	2	5,000ト	国内	国内貨物	供用中
-5.5m	180m	2	2,000ト	国内	国内貨物	新設計画

資料：2005 伊万里港パンフレット

佐賀新聞 平成 18 年 5 月 31 日

アジア航路 堅調な伸び

伊万里港九州3位に

05 年

コンテナ 取扱量 ハードの整備急務

昨年の伊万里港コンテナ取扱量が、北九州に次ぐ九州第三位となったことが、伊万里港にある伊万里港港務協会(会長、市康智)の発表で明らかになった。週四便のシア航路が開設に伴い、中国との輸送が全体を押し上げた。九州の国際物流は、着実に成長を遂げている。

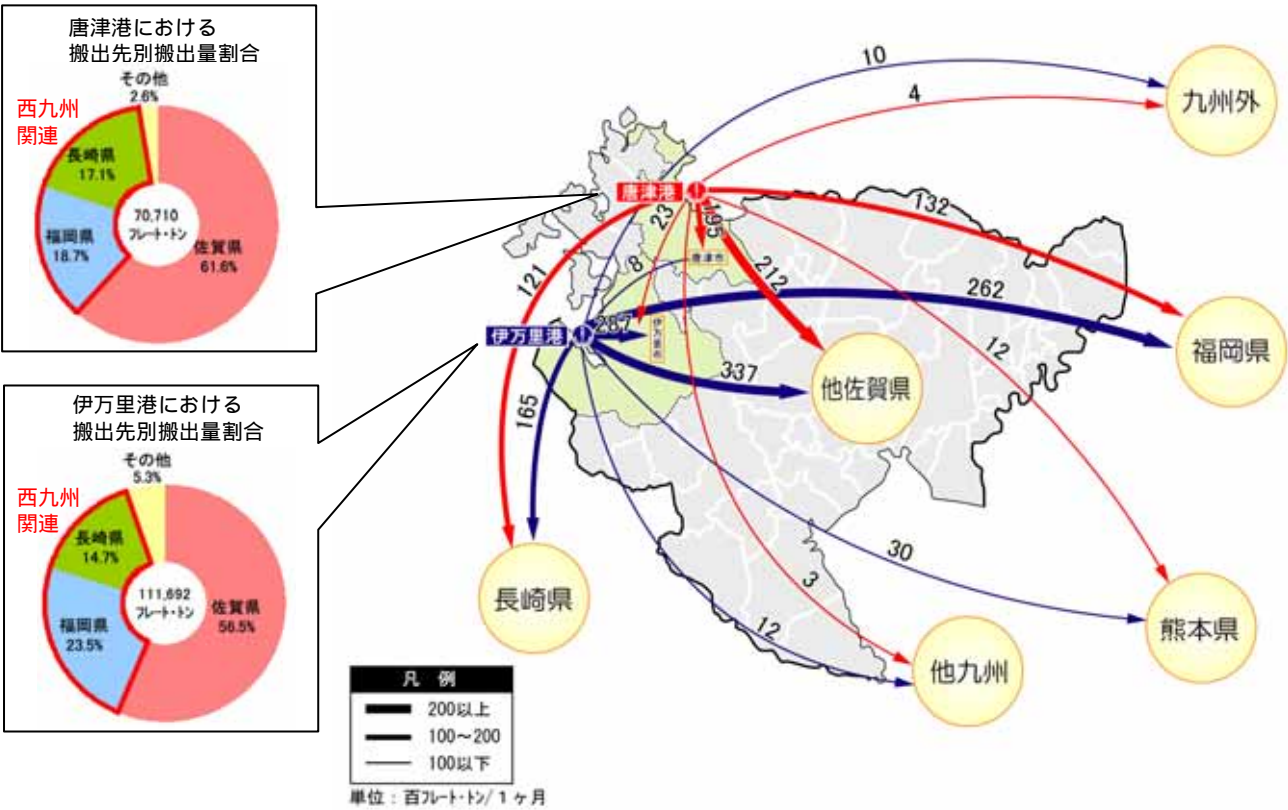
昨年のコンテナ取扱量は、前年比で約 18% 増加した。これは、大連航路の開設が最大の要因と見られる。大連航路は、昨年 7 月に開設された。大連航路は、大連と伊万里港を結ぶ。大連航路は、大連と伊万里港を結ぶ。大連航路は、大連と伊万里港を結ぶ。

伊万里港のコンテナ取扱量は、昨年の 1 月から 7 月までの間で、前年比で約 18% 増加した。これは、大連航路の開設が最大の要因と見られる。大連航路は、昨年 7 月に開設された。大連航路は、大連と伊万里港を結ぶ。大連航路は、大連と伊万里港を結ぶ。

伊万里港に陸揚げされた貨物の約 2 割、また唐津港の約 2 割が、西九州自動車道沿線の長崎県へ搬送されている。
 伊万里松浦道路が整備されることにより、伊万里港から長崎県方面への輸送時間が短縮し、広域的な物流の支援が図られる。

伊万里港に陸揚げされた貨物の 15% は長崎県へ、また、唐津港においても 17% が長崎県に搬送されており、伊万里港、唐津港ともに県境を越えた広域的な背後圏を有する港湾となっている。

伊万里松浦道路が整備されることにより、「伊万里港・唐津港」「長崎県方面」への輸送時間が短縮し、広域的な物流の支援が図られる。



唐津港・伊万里港における県内外搬出先および搬出量
 資料：平成 17 年陸上出入貨物調査

地域ブランドの支援

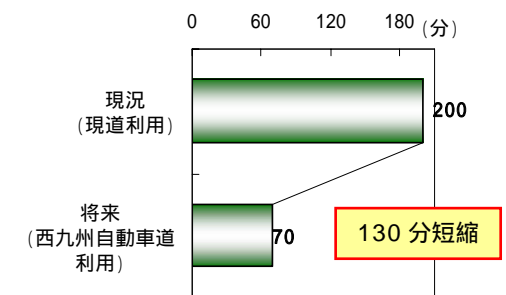
伊万里松浦道路沿線の松浦港は、平成 13 年以降「さば」及び「まあじ」の水揚量が全国1位または2位を誇っており、約9割が九州外へ出荷されている。また、五島・対馬沖でとれる「旬あじ」、「旬さば」は、全国に通用するブランドとして定着しつつある。伊万里松浦道路の整備により、輸送時間短縮(松浦市から福岡市への所要時間は約130分短縮)による鮮度の向上など商品価値の向上が図られ、地域ブランドとしての地位確立を支援する。

伊万里松浦道路沿線の松浦港は、平成 13 年以降「さば」及び「まあじ」の水揚量が全国1位または2位を誇っており、約9割が九州外へ、約1割が福岡方面へ出荷されている。長崎産のまあじは、東京中央卸売市場において年間取扱量が第1位である。

また、松浦港で水揚げされるまあじ・さばの中でも、五島・対馬沖でとれる「旬あじ」、「旬さば」は、全国に通用するブランドとして定着しつつある。

伊万里松浦道路の整備により、輸送時間短縮による鮮度の向上など商品価値の向上が図られる。さらに、輸送時間短縮に伴い積み込み時間が増加し輸送量が増加するなど、輸送コストの低減も期待出来、良質で安価な商品を大都市圏へ提供することが可能となり、地域ブランドとしての地位確立を支援する。

松浦市～福岡市の所要時間変化



資料：H11 道路交通センサス

まあじ水揚量上位3港

前回再評価

順位	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
1	境港	境港	松浦港	松浦港	境港
2	松浦港	松浦港	境港	境港	松浦港
3	唐津港	浜田港	唐津港	唐津港	唐津港

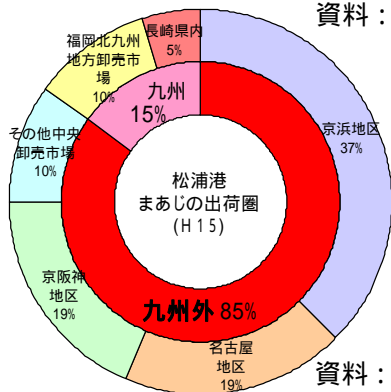
さば水揚量上位3港

前回再評価

順位	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
1	松浦港	銚子港	松浦港	松浦港	松浦港
2	焼津港	松浦港	銚子港	銚子港	銚子港
3	沼津港	石巻港	焼津港	沼津港	焼津港

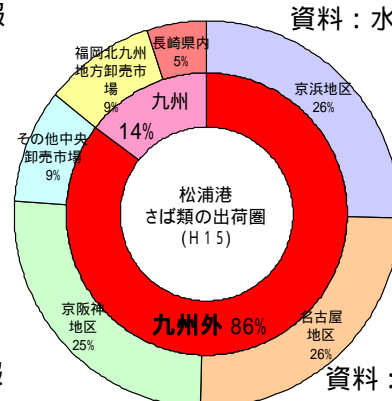
資料：水産物流通統計年報

資料：水産物流通統計年報



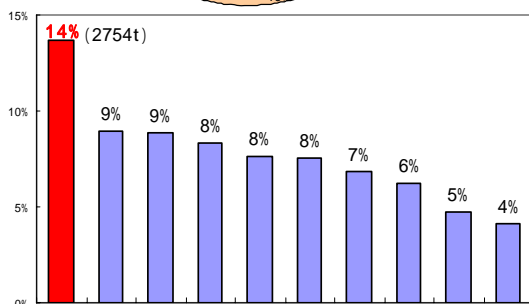
松浦港まあじの出荷先

資料：水産物流通統計年報



松浦港さば類の出荷先

資料：水産物流通統計年報



東京市場まあじ産地別出荷量割合
資料：東京中央卸売市場市場統計情報



旬あじ
旬さば



松浦魚市場

資料：松浦市水産加工団地パンフレット

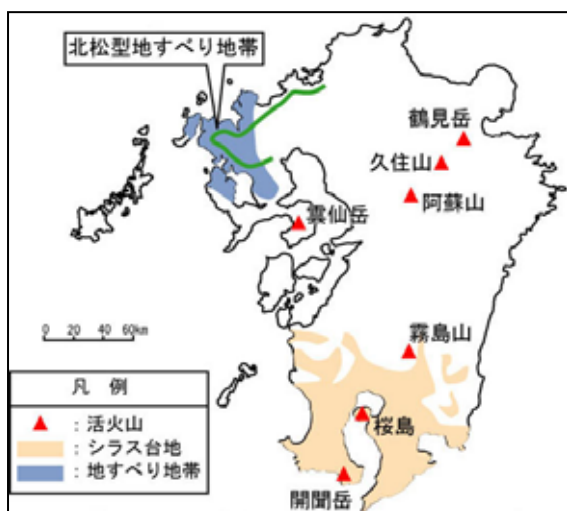
効果・必要性3:地域の防災機能・安全性の向上

リダンダンシーの確保

伊万里・北松地域は「北松型地すべり」と呼ばれる地すべり地帯である。そのため、国道204号沿線にも地すべり防止区域が連続しており、土砂災害による通行規制が行われている。

伊万里・北松地域は、「北松型地すべり」と呼ばれる地すべり地帯である。平成2年には、幅350m、斜面長500m、被災区域面積22ha、移動土塊量300m³に及ぶ大規模な地すべりが発生している（石倉地すべり）。

伊万里松浦道路は、北松型地すべり地帯を通過する路線であり、並行する国道204号沿線には地すべり防止区域が連続し、土砂災害による道路災害発生の高危険性が高い区間となっている。これまでも土砂災害による通行規制が行われており、平成3年には1ヶ月にわたって片側通行規制が行われた。



九州地方の地形災害



石倉地すべり(平成2年7月)

土砂災害による通行規制状況
(平成12年6月20日)



国道204号沿線の地すべり防止区域

資料：佐賀県、長崎県資料

また、国道 204 号には、平成 8 年度防災・震災総点検における要対策箇所が多数存在している。

伊万里松浦道路が整備されることにより、伊万里市と松浦市を連絡する唯一の幹線道路である国道 204 号の代替路の確保が図られる。

また国道 204 号では、平成 8 年度の防災・震災総点検において要対策箇所が防災豪雨 3 箇所、震災 6 箇所が挙げられている。

このように、防災面からの問題を抱える国道 204 号に並行して伊万里松浦道路が整備されることにより、伊万里市と松浦市を連絡する唯一の幹線道路である国道 204 号の代替路の確保が図られる。



平成 8 年度防災・震災総点検における要対策箇所

資料：佐賀県、長崎県資料



防災点検での対策必要箇所（松浦市調川町）
平尾第一地すべり付近に位置。この付近では平成元年度に斜面崩壊が発生し、国道に流下する道路災害が発生。



防災点検での対策必要箇所（松浦市今福町）
地すべりの末端部に位置しているため擁壁自体にクラック等の被害が発生。

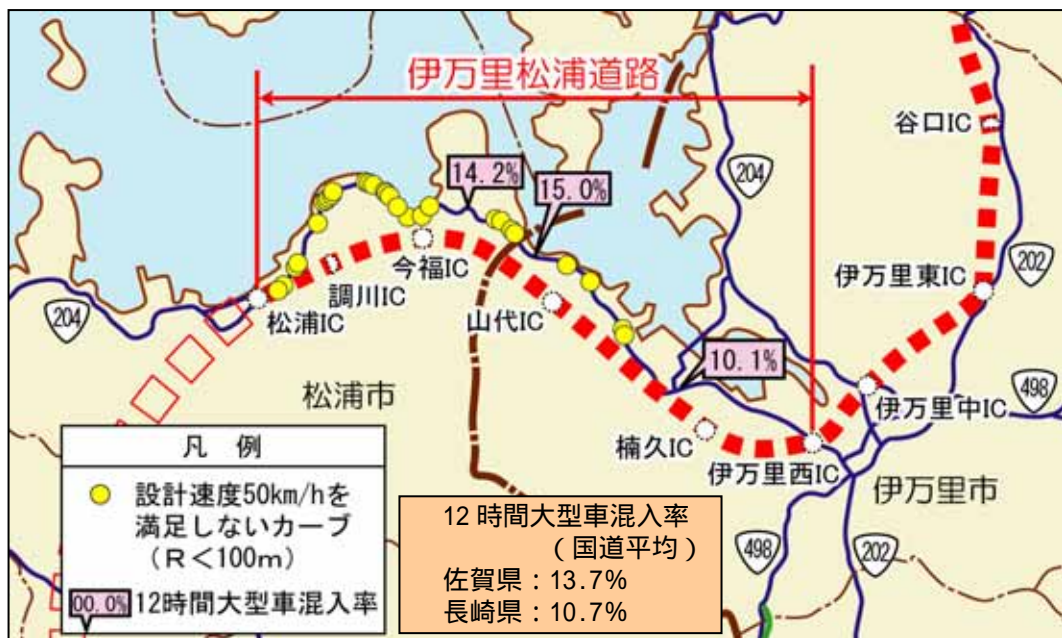
走行時の安全性向上

国道 204 号には、設計速度 50km/h を満足しないカーブ ($R < 100m$) が 28 箇所存在している。さらに、港湾関連等の大型車の通行が多く、大型車混入率は県平均を上回っている。

伊万里松浦道路が整備されることにより、伊線形不良区間を回避することが出来るため、走行時の安全性が向上し円滑な物流活動を支援する。

伊万里松浦道路に並行する国道 204 号には、設計速度 50km/h を満足しないカーブ ($R < 100m$) が 28 箇所存在している。さらに、カーブが連続する県境付近では、大型車混入率が 14 ~ 15% と、佐賀県及び長崎県の国道平均を上回っており、港湾関連等の大型車の通行が多くなっている。

国道 204 号に並行する伊万里松浦道路が整備されることにより、線形不良区間を回避することが出来るため、走行時の安全性が向上し円滑な物流活動の支援が期待できる。



国道 204 号の線形不良箇所及び大型車混入率

資料：道路台帳、H17 道路交通センサス



R < 100mのカーブ (松浦市調川町)



R < 100mのカーブ (松浦市今福町)

交通安全性の向上

伊万里松浦道路に並行する国道 204 号の伊万里市街地では、死傷事故率が県平均を上回っている。
 伊万里松浦道路が整備されることにより、国道 204 号の交通量減少に伴う交通事故の減少が予測される。

伊万里松浦道路に並行する国道 204 号の伊万里市街地では、死傷事故率が 180.6 件/億台キロと、佐賀県及び長崎県の国道平均を大きく上回っている。

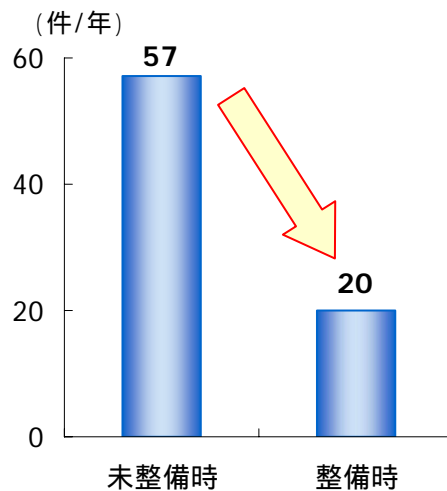
国道 204 号に並行する伊万里松浦道路が整備されることにより、国道 204 号から西九州自動車道へ交通が転換し、交通量削減に伴う交通事故の減少が予測される。



国道 204 号の死傷事故率

資料：H15・H16 交通事故統合データベース
 H17 道路交通センサス

	死傷事故率 (件/億台キロ)
1056	180.6
佐賀県国道平均	143.5
長崎県国道平均	95.8



伊万里松浦道路整備に伴う事故件数削減数

救急医療施設へのアクセス性向上

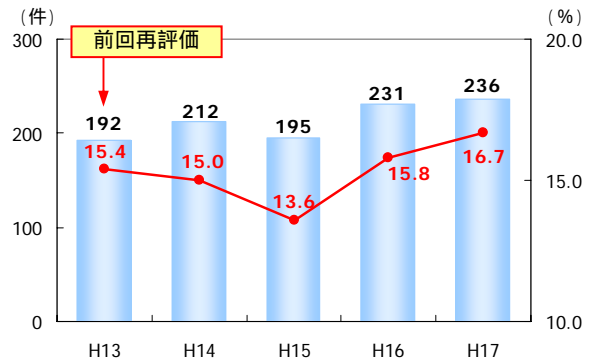
松浦市には二次救急医療施設がなく、平成13年以降、市外への搬送件数は増加傾向にある。伊万里市への搬送は佐世保市に次いで多く、市外搬送件数の14%(34件/年)を占める。

伊万里松浦道路が整備されることにより、松浦市から伊万里市民病院までの所要時間は50分15分に短縮するとともに、国道204号の急カーブを避けることが出来るため搬送時の走行性が向上(揺れ・振動の軽減)、安全・安心な暮らしの実現に寄与する。

松浦市には二次救急医療施設がなく、救急搬送件数(1,415件:H17)の約2割(236件:H17)が市外へ搬送されており、平成13年以降増加傾向にある。

伊万里市への救急搬送件数は34件と佐世保市に次いで多く、市外搬送件数の14%を占めている。そのほとんどが松浦市西部の今福地区からの搬送であるが、県境部の国道204号は急カーブが連続しており、搬送時の揺れや振動が患者への負担となっている。

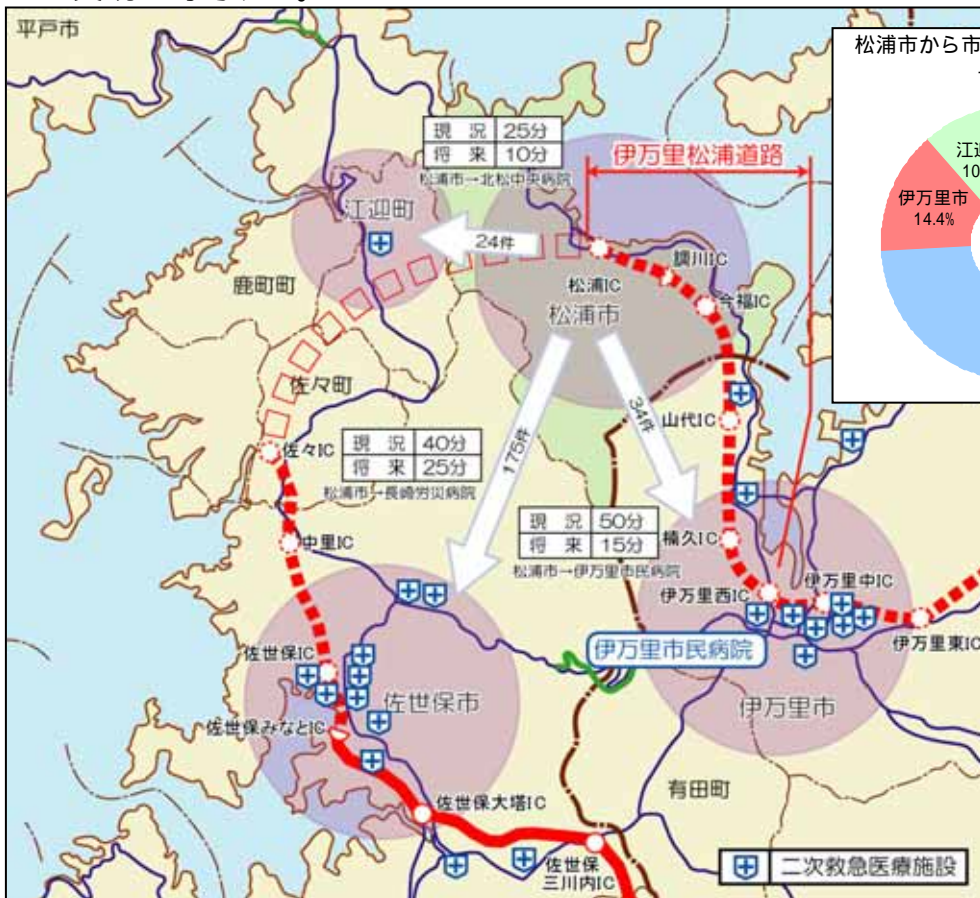
伊万里松浦道路が整備されると、松浦市から伊万里市民病院への所要時間は50分から15分へと大幅に短縮されるとともに、線形不良区間を避けることが出来るため搬送時の走行性が向上し、安全・安心な暮らしの実現に寄与する。



市外への搬送件数 ● 総搬送件数に占める市外搬送の割合

松浦市から市外への搬送件数の推移

資料：松浦地区消防署



資料：
佐賀県保健医療計画
長崎県保健医療計画
松浦地区消防署資料
H11 道路交通センサス

松浦 IC 予定地付近から二次救急医療施設までの時間。
将来は1種3級80km/hで算出。

松浦市から市外への搬送件数(H17)

効果・必要性4:活力ある地域づくりの支援

開発計画の支援

伊万里松浦道路沿線の伊万里市・松浦市周辺では、工場団地をはじめとした開発計画が多数展開している。

伊万里松浦道路沿線の伊万里市及び松浦市周辺地域では、工場団地をはじめとした開発事業が数多く展開している。



伊万里松浦道路沿線における開発計画位置図

伊万里松浦道路沿線における開発計画概要

番号	名称等	所在地	規模	完成予定時期	内容
	伊万里団地	佐賀県伊万里市山代町	113.3ha	平成10年 (分譲中)	工業団地
	七ツ島工業団地	佐賀県伊万里市黒川町	148.2ha	昭和48年 (分譲中)	工業団地
	伊万里ファミリーパーク	佐賀県伊万里市黒川町	28ha	平成18年一部開園 完成時期未定	公園
	黒澤明記念館	佐賀県伊万里市黒川町 伊万里市ファミリーパーク内	1.4ha	平成19年より 順次オープン	記念館
	伊万里港七ツ島地区多目的国際ターミナル整備事業	佐賀県伊万里市	-13m 岸壁	平成26年度	岸壁整備
	松浦市水産加工団地	長崎県松浦市調川町	5.3ha	平成16年 (分譲中)	水産加工団地
	今福工業団地	長崎県松浦市今福町	3.9ha	平成7年 (分譲中)	工業団地
	福島平野工業団地	長崎県松浦市福島町	5.8ha	昭和48年 (分譲中)	工業団地
	福島小島工業団地	長崎県松浦市福島町	4.2ha	平成6年 (分譲中)	工業団地
	辻の尾土地区画整理事業	長崎県松浦市志佐町	17.9ha	平成18年度	住宅、道路、 公園等整備
	臨海1号団地	長崎県松浦市志佐町	2.8ha	平成2年 (分譲中)	工業団地
	臨海2号団地	長崎県松浦市志佐町	1.4ha	昭和62年 (分譲済)	工業団地
	臨海5号団地	長崎県松浦市調川町	16.1ha	昭和57年 (分譲中)	工業団地

伊万里港に近接する伊万里団地では、シリコンウエハー製造大手のSUMCOが進出協定を締結し、伊万里市内の既存工場と合わせ、世界最大の製造拠点にする計画である(平成20年1期工事分操業開始予定)。

伊万里松浦道路の整備により、伊万里団地から高速道路 IC へのアクセス性が向上し、定時制の確保、輸送コストの削減が期待され、企業進出を支援する。

また、伊万里団地では企業の進出、拡張などが相次いでおり、平成18年5月には、シリコンウエハー製造大手のSUMCOが伊万里団地に新工場を建設する進出協定を締結、伊万里市内にある既存工場と合わせ、世界最大の製造拠点にする計画である。(平成20年4月1期工事分操業開始予定。将来的な雇用規模は700人。)

伊万里松浦道路の整備により、伊万里団地から高速道路 IC まで5分でアクセス出来るようになり、定時性の確保、輸送コストの削減が期待されるなど、沿線工業団地への企業進出を支援する。



伊万里団地立地企業

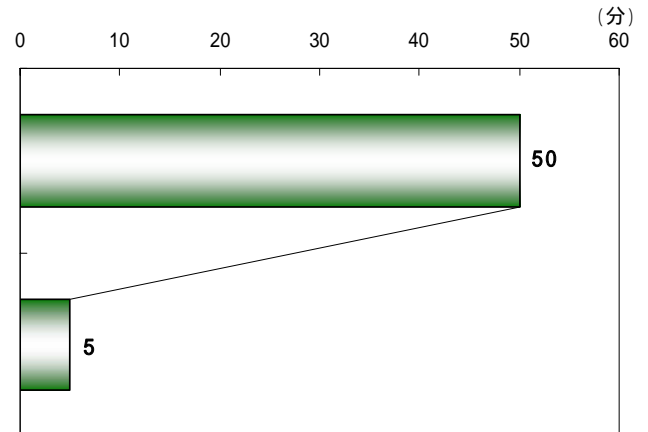
資料：伊万里港七ツ島地区多目的国際ターミナル整備事業再評価資料、伊万里市資料
平成15年以降の

伊万里団地企業進出・拡張状況

年月	企業進出・拡張状況
H15.10	伊万里木材 (木材市場操業開始)
H16.3	日本水産 (配合飼料工場操業開始)
H16.5	中国木材 (第2期展開 集成材操業開始)
H16.9	中国木材 (第3期展開 プレカット工場操業開始)
H17.6	西九州木材事業協同組合 (ラミナ材製造)操業開始 ラミナ材:集成材用の薄い板
H20.4	SUMCO (1期工事分操業開始予定)
H20.8	SUMCO (2期工事分完成予定)
H21頃	中国木材 (第4期展開 製材工場操業開始予定)

番号は上図と対応

資料：伊万里港七ツ島地区多目的国際ターミナル整備事業再評価資料、伊万里市資料、新聞記事



伊万里団地～高速道路 IC までの
所要時間変化

資料：H11 道路交通センサス

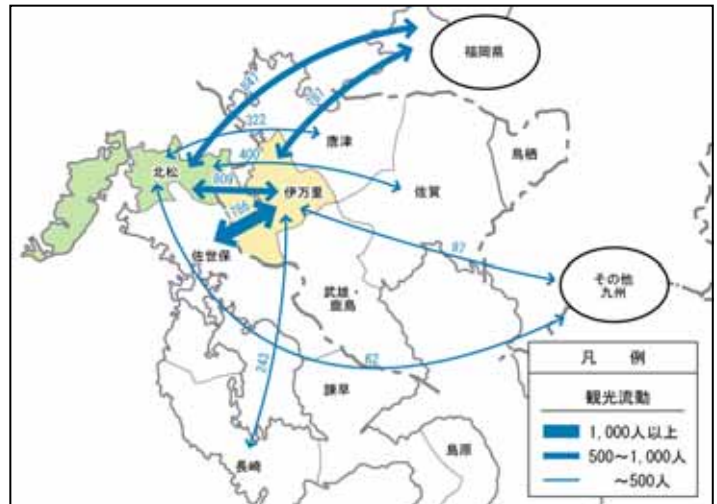
観光活性化の支援

伊万里松浦道路沿線の伊万里市は170万人/年、松浦市は20万人/年の観光客があり、伊万里地域～北松地域間は約800人/日の観光客が移動している。
伊万里松浦道路の整備によりアクセス性が向上し、沿線の観光拠点のネットワーク化が図れるなど、観光活性化の支援が期待される。

伊万里松浦道路を含む西九州自動車道沿線地域には、唐津市、伊万里市、佐世保市など観光客が100万人を超える市町村が点在している。松浦市の観光客数は20万人であるものの、不老山総合公園などの観光地を有している。

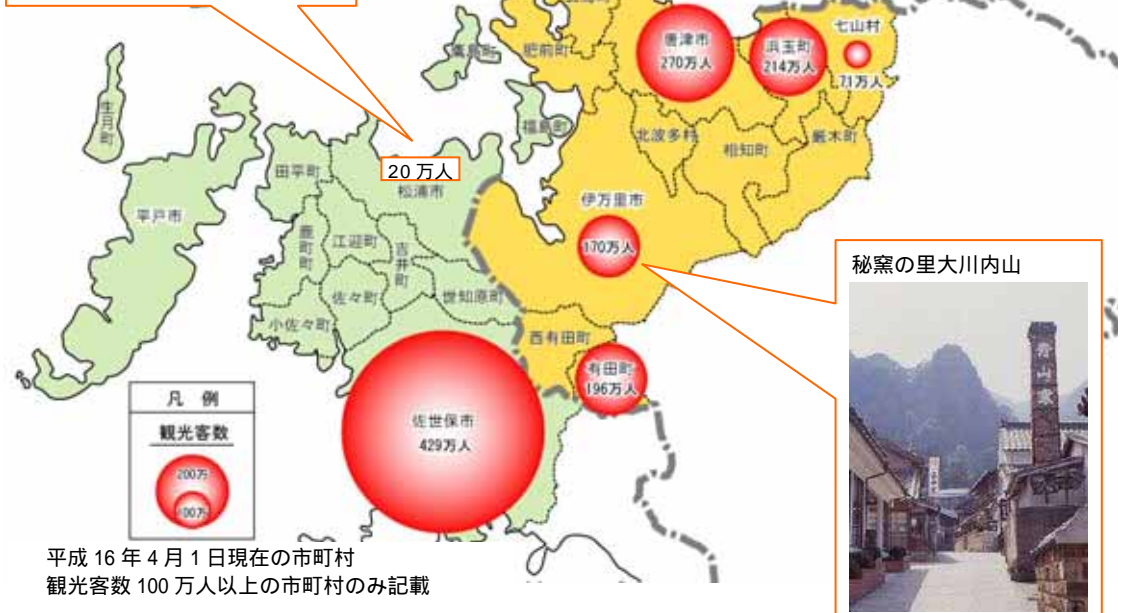
また、伊万里松浦道路沿線の伊万里地域～北松地域間では、約800人/日の観光流動があり、西九州自動車道沿線の伊万里・北松地域～福岡県、伊万里地域～佐世保地域間でも500人/日以上観光客が移動している。

伊万里松浦道路を含む西九州自動車道の整備によりアクセス性が向上し、沿線の観光拠点のネットワーク化が図れるなど、観光活性化の支援が期待される。



伊万里・北松地域に関する観光客流動(H12;全機関)

資料：第3回全国幹線旅客純流動調査



平成16年4月1日現在の市町村
観光客数100万人以上の市町村のみ記載

西九州自動車道沿線の観光客数 (H16)

資料：佐賀県観光客動態調査、長崎県観光統計
伊万里市観光協会 HP、松浦市観光協会 HP

効果・必要性5:地元要望の状況

伊万里松浦道路沿線では期成会や道路利用者から西九州自動車道の早期整備に関する要望が多数寄せられている。

西九州自動車道沿線地域では、西九州自動車道の早期整備を図るため、複数の期成会が設立されており、積極的な要望活動が行われている。

また、沿線地域の道路利用者からも、西九州自動車道の早期整備に対する声が数多く寄せられており、西九州自動車道整備に対する地元の期待は非常に大きい。

西九州自動車道沿線地域住民の声



伊万里地区

伊万里を訪れてくださる方々に、伊万里焼のすばらしさに触れてもらい、伊万里牛をはじめ自然に恵まれた新鮮な料理を食べていただきたいと「食のまちづくり宣言」をいたしました。他県から1人でも多くの方に来ていただけるように、一日も早い西九州自動車道の全線開通を願っています。

伊万里市
婦人連絡協議会会長
金子 弘子さん

伊万里・北松地域は、中国、韓国に近いので、西九州自動車道完成の暁には、伊万里湾岸の各種産業が大きく発展することは言うまでもなく、アジアの物流の重要拠点の1つとして、その役割が大いに期待されています。西九州自動車道の日も早い開通を熱望してやみません。

伊万里市
退職校長会志水会
前田 武憲さん

特産品の伊万里牛や伊万里梨は、主に関西方面へ全てトラックで輸送しています。また、長崎県北松浦地域からも、新鮮な魚貝類を、福岡をはじめ関西方面へ毎日トラック輸送されています。西九州自動車道が開通すれば輸送時間が短縮され、西九州地域全体の活性化に弾みがつきます。

南波多町
西九州自動車建設促進期成会会長
井本 善一郎さん

松浦地区

福岡市で高度な医療を受けることが可能となります。
・買い物に行きやすくなります。
・通勤時間が短縮されます。
・佐賀県、福岡県への通勤が可能となり、またUターンも増加します。
・高速バスの整備により、都市部への交通の便が良くなって欲しいです。

北松地域住民

アジ・サバを関西・関東に出荷しています。所要時間が短縮されると、商品価値の向上が期待されます。トラックへの積み込み時間を多く取れるため、輸送量の増加に繋がり、営業金額の増加が見込めます。

松浦市
西日本魚市場(株)

輸送時間が短縮することで販売先の選択が広がり、高値の市場に卸せるようになります。イカ類の鮮度が確保できるようになり、単価的に上昇が見込まれます。

長崎県漁業共同組合
連合会(田平)

3 - 2 . 事業の投資効果

費用便益分析の結果 (一般国道 497 号 伊万里松浦道路 L=17.2km)

(1) 事業の目的

唐津伊万里道路は、西九州自動車道のうち、佐賀県伊万里市～長崎県松浦市を結ぶ延長 17.2km の自動車専用道路である。

本道路は、九州北西部の広域的な連携を図り、地域の活性化に大きく寄与するとともに、当該地域の主要幹線道路である一般国道 204 号の代替路線としての機能も有する。

(2) 費用便益効果分析結果

全事業

1) 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 18 年度			
初年便益	17 億円	2 億円	1 億円	19 億円
基準年における 現在価値(B)	643 億円	63 億円	45 億円	750 億円

2) 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 18 年度		
単純合計	648 億円	163 億円	811 億円
基準年における 現在価値(C)	517 億円	60 億円	577 億円

3) 評価指標の算定結果 (全事業区間)

費用便益費 (C B R)	B / C = 1.3
-----------------	-------------

上記の費用便益比を算定するにあたって仮定した条件：

平成 24 年度 山代 IC ~ 今福 IC 部分供用
 平成 26 年度 今福 IC ~ 調川 IC 部分供用
 平成 27 年度 調川 IC ~ 松浦 IC 部分供用
 平成 30 年度 伊万里西 IC ~ 山代 IC 供用 全線完成

②残事業

1) 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 18 年度			
初年便益	17 億円	2 億円	1 億円	19 億円
基準年における 現在価値 (B)	643 億円	63 億円	45 億円	750 億円

2) 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 18 年度		
単純合計	634 億円	163 億円	797 億円
基準年における 現在価値 (C)	501 億円	60 億円	560 億円

3) 評価指標の算定結果 (残事業区間)

費用便益比 (C/B)	$B/C = 1.3$
-------------	-------------

※上記の費用便益比を算定するにあたって仮定した条件：

平成 24 年度 山代 IC～今福 IC 部分供用
 平成 26 年度 今福 IC～調川 IC 部分供用
 平成 27 年度 調川 IC～松浦 IC 部分供用
 平成 30 年度 伊万里西 IC～山代 IC 供用 →全線完成

3 - 3 . 事業の進捗状況

(1) 事業の経緯

平成 5 年：基本計画決定

平成 9 年：事業化

平成 12 年：環境影響評価方法書の公告縦覧

平成 13 年：環境調査

(事業再評価)

平成 15 年～16 年：道路構造の見直し (完成 4 車線 完成 2 車線)

平成 16 年：環境影響評価法に伴う手続きの廃止

平成 17 年：都市計画決定 (佐賀県区間：平成 17 年 9 月、長崎県区間：平成 17 年 6 月)

路線測量、地質調査着手

(2) 事業費の進捗状況

	全体事業費	H17 年度末進捗	進捗率
事業費	677 億円	11 億円	2%
うち用地補償費	99 億円	0 億円	0%

4. 事業の進捗の見込み

(1) 今後の事業の見通し

平成 18 年度は、山代～今福間の地質調査、予備設計、設計協議などを行い、用地買収の着手に向け、引き続き関係機関及び地権者等と協議を進め早期供用に向け事業を推進していく。

(2) 地域の協力体制

期成会等

名 称	主な構成メンバー	活 動 内 容
西九州自動車道建設促進期成会 (会長：唐津市長)	福岡市、前原市、二丈町、志摩町、唐津市、伊万里市、武雄市、玄海町、有田町、佐世保市、平戸市、松浦市、波佐見町、江迎町、鹿町町、佐々町の首長及び議会議長	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.14 西九州自動車道建設促進期成会定期総会（第39回） H16.8.24 西九州自動車道整備促進要望 H16.10.18 西九州自動車道整備促進要望 H16.11.11 西九州自動車道整備促進要望 H16.11.21 平成16年度西九州自動車道建設促進総決起大会 H17.7.8 西九州自動車道建設促進期成会定期総会（第40回） H17.8.23 西九州自動車道整備促進要望 H17.10.7 西九州自動車道整備促進要望 H17.10.27 西九州自動車道建設促進に関する意見交換会 H17.10.27 西九州自動車道整備促進要望 H18.7.4 西九州自動車道建設促進期成会定期総会（第41回）
西九州自動車道伊万里道路建設促進協議会 (会長：伊万里市山代町区長会会長)	伊万里地区、大坪地区、立花地区、牧島地区、二里町、東山代町、各区長会会長及び副会長 地元婦人連絡協議会会長 商工会議所会頭 土木事務所所長 地元市議会議員 農業協同組合代表理事組合長 地元公民館館長 地元県議会議員	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.8.11 西九州自動車道伊万里道路建設促進協議会総会 H17.7.26 西九州自動車道伊万里道路建設促進協議会総会 H18.7.25 西九州自動車道伊万里道路建設促進協議会総会
伊万里市西九州自動車道建設促進期成会 (会長：伊万里市長)	伊万里市、市議会及び関係行政機関の役職員 商工会議所・農業協同組合の役職員 関係地域団体及び経済団体等の役職員	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.8.4 伊万里市西九州自動車道建設促進期成会総会 H16.11.2 西九州自動車道早期整備要望 H16.11.19 西九州自動車道早期整備要望 H17.7.20 伊万里市西九州自動車道建設促進期成会総会 H17.11.15 西九州自動車道早期整備要望 H18.7.12 伊万里市西九州自動車道建設促進期成会総会
伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道建設促進協議会 (会長：松浦市議会特別委員会委員長)	伊万里市、松浦市、平戸市議会の特別委員会委員 伊万里市、松浦市、平戸市の議会議長	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.10.18 西九州自動車道建設促進要望 H16.10.20 西九州自動車道建設促進要望 H17.2.14 西九州自動車道建設促進要望

名 称	主な構成メンバー	活 動 内 容
山代町西九州自動車道建設促進協議会 (会長：伊万里市山代町区長会会長)	伊万里市山代町各区長 地元県議会議員 地元市議会議員 地元団体 土木事務所所長	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.16 山代町西九州自動車道建設促進協議会総会 H17.7.26 山代町西九州自動車道建設促進協議会総会 H18.7.25 山代町西九州自動車道建設促進協議会総会
西九州北部地域開発促進協議会 (会長：伊万里市長)	佐世保市、平戸市、松浦市、伊万里市、唐津市、世知原町、佐々町、小佐々町、江迎町、鹿町町、福島町、宇久町、小値賀町、鷹島町、有田町、西有田町、波佐見町の首長及び議会議員	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.9.29 西九州自動車道建設促進要望 H17.10.28 西九州自動車道建設促進要望
南波多町西九州自動車道建設促進期成会 (会長：伊万里市南波多町関係区代表)	南波多町の各区長 重橋区、井手野区代表 地元市議会議員 農業協同組合支所長 地元公民館館長 伊万里市建設部長 土木事務所所長	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.9 南波多町西九州自動車道建設促進期成会総会 H17.7.8 南波多町西九州自動車道建設促進期成会総会 H18.7.10 南波多町西九州自動車道建設促進期成会総会
西九州自動車道千々賀山田ランプ建設促進期成会 (会長：唐津駅南振興会会長)	唐津市千々賀区、山田区、神田区、石志区、畑島区の区長 唐津駅南振興会の役職員 唐津商工会議所会頭 地元県議会議員 地元市議会議員	西九州自動車道千々賀山田ランプ建設実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.28 西九州自動車道千々賀山田ランプ建設促進期成会通常総会（第4回） H17.9.30 西九州自動車道千々賀山田ランプ建設促進期成会通常総会（第5回）
西九州自動車道建設推進協議会 (会長：佐賀県知事)	佐賀県、福岡県、長崎県の知事及び議会議員 福岡市の首長及び議会議員 佐賀県、福岡県、長崎県、福岡市の関係行政機関の役職員 九州地方整備局長 福岡国道、佐賀国道、長崎河川国道事務所長 日本道路公団九州支社長 佐賀県、福岡県、長崎県の道路公社理事長 地元の衆議院議員及び参議院議員	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.22 西九州自動車道建設推進協議会 H16.8.18 西九州自動車道整備促進要望（西九州自動車道建設促進三県議員懇話会） H17.7.22 西九州自動車道建設推進協議会 H18.7.20 西九州自動車道建設推進協議会
北松浦半島振興対策協議会 (会長：平戸市長)	平戸市、松浦市、鹿町町、伊万里市、佐世保市、江迎町、佐々町の首長及び議会議員	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H15.12.2 半島振興対策促進大会
長崎県西九州自動車道建設促進期成会 (会長：長崎県知事)	長崎県知事及び議会議員 関係市長及び議会議員 行政機関役職員 商工会議所 農業・漁業組合 中小企業団体首長 町村会及び議長会等会長	西九州自動車道の早期実現について、総会の開催及び国土交通省へ要望 参考 H15.8.19 地整要望
平戸市議会西九州自動車道整備促進特別委員会 (会長：平戸市議会議長)	平戸市議会特別委員会	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H16.7.29 地整要望 H16.7.30 本省要望 H18.1.26 本省要望

協力体制

組織名	業務内容
唐津市建設部国道対策室 (平成元年4月)	西九州自動車道・唐津道路・唐津伊万里道路 (地元対応、地域情報窓口)
伊万里市建設部国道港湾対策課 (平成3年4月)	西九州自動車道・唐津伊万里道路・伊万里道路・ 伊万里松浦道路 (地元対応、地域情報窓口)
松浦市都市計画課西九州道推進係 (平成17年4月)	西九州自動車道・伊万里松浦道路 (地元対応)

要望等

H16.7.29	地整要望(平戸市議会西九州自動車道整備促進特別委員会)
H16.7.30	本省要望(平戸市議会西九州自動車道整備促進特別委員会)
H16.8.18	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設推進協議会)
H16.8.19	西九州自動車道事業促進要望(伊万里市議会自民党議員団)
H16.8.24	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H16.9.29	西九州自動車道建設促進要望(西九州北部地域開発促進協議会)
H16.9.29	西九州自動車道伊万里道路の脇田区内における法線変更要望(伊万里市脇田区)
H16.10.13	西九州自動車道事業促進要望(伊万里市南波多町まちづくり推進協議会、 伊万里市南波多町区長会)
H16.10.18	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H16.10.18	西九州自動車道建設促進要望(伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道 建設促進協議会)
H16.10.20	西九州自動車道建設促進要望(伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道 建設促進協議会)
H16.11.2	西九州自動車道早期整備要望(伊万里市西九州自動車道建設促進期成会)
H16.11.11	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H16.11.19	西九州自動車道早期整備要望(伊万里市西九州自動車道建設促進期成会)
H16.11.21	平成16年度西九州自動車道建設促進総決起大会(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.2.14	西九州自動車道建設促進要望(伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道 建設促進協議会)
H17.6.9	西九州自動車道唐津道路整備要望(唐津市)
H17.8.23	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.10.7	西九州自動車道整備促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.10.27	西九州自動車道建設促進に関する意見交換会(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.10.27	西九州自動車道建設促進要望(西九州自動車道建設促進期成会)
H17.10.28	西九州自動車道建設促進要望(西九州北部地域開発促進協議会)
H17.11.15	西九州自動車道早期整備要望(伊万里市西九州自動車道建設促進期成会)
H18.1.26	本省要望(平戸市議会西九州自動車道整備促進特別委員会)

5 . コスト縮減や代替案立案等

(1) コスト縮減

事業実施にあたっては、新技術・新工法の積極的活用等により、着実なコスト縮減を図るとともに、事業の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。

【具体的な取組状況】

道路構造の見直し (4 車線 2 車線)

当初計画(4車線)	コスト縮減(2車線)
<p>一般部 20.5</p>	<p>一般部 12.0</p>
事業費：約 860 億円	事業費：約 677 億円
縮減額：約 183 億円	

(2) 代替案の立案

伊万里松浦道路は、地形条件、周辺地域からの利便性、伊万里港からのアクセス性、「自然公園法」、「文化財保護法」等の重要な自然環境の保全地区、「文化財保護法」に基づき指定された史跡・名勝・天然記念物、河川、JR等のコントロールポイントなどを総合的に勘案して計画したものである。

平成 17 年度に都市計画決定を行っており、今後も現計画で早期供用に向けて事業を促進することが最適である。

6 . 対応方針(案)

〔事業継続〕

一般国道 497 号西九州自動車道の伊万里松浦道路については、事業を継続する。

伊万里松浦道路は、西九州自動車道の一区間を形成し、広域的な地域間の連携・交流を促進する道路であり、伊万里・松浦地域間の交流連携の強化、地域の産業、経済発展に寄与する事業である。

また、物流の効率化支援、地域の防災機能・安全性の向上、活力ある地域づくりの支援などの効果が期待されているところであり、周辺の自治体などから積極的な整備促進要望がなされている。また、沿線の地域住民も西九州自動車道整備に対する期待は大きい。

このため、引き続き伊万里松浦道路の早期供用に向けて、事業を推進する。

なお、本道路を含む西九州自動車道については、その整備効果の早期発現等の観点から、事業の効率的促進を図るため、関係自治体と連携して必要な調査・事業を推進する。

7. 関連新聞記事

佐賀新聞 平成 18 年 7 月 5 日

養母田トンネル着工へ



西九州道の全線供用へ要望活動を行うことを決めた建設促進期成会の総会＝唐津市の唐津ロイヤルホテル

西九州自動車道建設促進期成会（会長・坂井俊之唐津市長）の総会が四日、唐津市の唐津ロイヤルホテルであった。計画区間百五十キロのうち、約四割の六十五キロの供用に

西九州道期成会が総会

とまとまっている同自動車道の全線供用へ向け、要望活動を行うことなどを決めた。総会には佐賀、福岡、長崎県の沿線十六市町の首長や議長らが出席。各県の国道工事事務所が進ちよく状況を説明した。県関係では本年度、唐津道路（十・四キロ）のうち鹿家―浜玉間（三・八キロ）が、二〇〇九年度の供用開始に向けた用地買収や高架橋など工事を引き続き促進。唐津伊万里道路（一八・一キロ）は、養母田トンネルの工事着手を予定していることなどが報告された。また、役員改選では、会長に坂井俊之唐津市長を再選した。（古賀真）

長崎新聞 平成 17 年 8 月 19 日

松浦で定期総会

事業推進へ3市協力

西九州自動車道建設促進協
【松浦】西九州自動車道の早期完成を目指す伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道建設促進協議会の定期総会が十八日、松浦市であり、三市協議会が協力して事業推進に向けた活動に取り組む



西九州自動車道の建設促進に向けた活動を決めた総会＝松浦市志佐町、松浦シティホテル

【松浦】西九州自動車道建設促進協 総会では三市持ち回りで毎年開催。福村邦廣松浦市議会議長は「長期間の活動がようやく実を結ぶ」としている。一日も早い建設着手、完成につながるよう今後も協力して活動を進めよう」とあいさつした。新会長には、伊万里市議会の前田敦一交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員長を連任。長崎、佐賀両県や地元選出国会議員への陳情活動などの本年度事業計画案と予算案について協議。国への要望として「社会資本整備重点計画に即した道路整備を推進するため、所要の道路予算を確保する」「道路特定財源を確保し、その全額を道路整備に充当する」などを盛り込んだ決議文を採択した。



伊万里松浦道路の工事基準点を除幕する今福小の児童
—松浦市今福町東免

西九州道伊万里松浦道路

本県側工事で着手式

【松浦】西九州自動車道伊万里松浦道路の本県側工事の着手式が二十四日、松浦市今福町東免の今福小であり、児童や地域住民、関係者が工事着手を祝った。

着手式には県、市、国交省などの関係者や地域住民、今福小の児童ら計約二百十人が出席。国土交通省長崎河川国道事務所長が「地域の発展に役立つ道路になるよう力を尽くしたい」とあいさつ。吉山市長は「松浦市が掲げる交通人口増加に大いに役立つ道路になるだろう」と期待を込めた。

金子知事は「国の道路成を祈願した。」

特定財源の一般財源化に反対の姿勢を示し、一日も早い完成を願う」と述べ、出席した国交省関係者らに道路特定財源に関して注文を付けた。

今福小の五、六年生によるソーラン節の披露や工事基準点の除幕、金子知事や吉山市長らによる工事基準点のくい打ち、記念植樹などで工事の着手を祝い、道路の早期完成を祈願した。

伊万里松浦道路（延長約十七き）は国の計画に正式に盛り込まれ、今福IC（仮称）—佐賀県境間（約二き）の測量作業を本年度末まで実施、来年度以降、設計作業に入る。

西九州道 今福—佐賀県境 測量で住民説明会

松浦



測量作業について説明する国交省長崎河川国道事務所の職員 —松浦市、今福公民館

【松浦】国土交通省長崎河川国道事務所は十七日、西九州自動車道・今福IC（仮称）—佐賀県境間（約二き）の測量作業について、松浦市の今福公民館で住民説明会を開いた。

同自動車道伊万里松浦道路（延長約十七き）が国の計画に正式に盛り込まれたことに伴い、現地でする測量作業について住民に理解を深めてもらう狙い。

同事務所の職員三人が、路線測量やボーリング調査などの作業内容などを説明。私有地への立ち入りについて理解を求めた。測量は今月から本年度末まで実施。来年度以降、設計作業に取り組み。住民から「用地買収はいつ始まるのか」などの質問が出たが、事務所側は「年度ごとの予算で事業の進ちょく状況が変わる」と具体的説明を避けた。



伊万里松浦道路

県審議会が都市計画承認

地元で 9月以降にも測量

県都市計画審議会(会長・三浦哲彦佐賀大学名誉教授、十八人)は十九日、西九州自動車道路のうち伊万里市東山代町と長崎県境をつなぐ「伊万里松浦道路」(約十キロ)の都市計画を承認した。九月以降にも地元での測量に着手する方針。

伊万里松浦道路は、同市東山代町の伊万里西(仮称)インターチェンジ(ＩＣ)を起点とし、同市山代町の県境までを結ぶ幅員十二メートル、二車線の自動車専用道路。計画では、伊万里西を含む三つのＩＣを設ける

ほか、楠久ＩＣと国道二〇四号を結ぶアクセス道路(六百三十メートル)などを整備する。

今年二月にルートなどの原案が公表されており、審議会では地元から異論などが出ていないことが報告され、満場一致

で計画案を可決した。国土交通大臣の同意を得た後、九月中旬に正式決定。その後、現地測量に入る予定だが、本格的な着工や完成時期は未定という。

伊万里東ＩＣを結ぶ四車線の伊万里道路(約七キロ)は行政区や集落を分断するため、地元からルート変更の要望も出ており、環境影響評価を終えた後の来年秋以降に同審議会

で諮る予定。

西九州自動車道路は、福岡市から唐津、伊万里、松浦、佐世保市を経て武雄市に至る延長百五十キロの自動車専用道路で、現在五十五キロが供用を始めている。

(坂田)

西九州道伊万里松浦道路

一部都市計画道に

県都市計画審が承認

県都市計画審議会は二十日、長崎市内で開き、西九州自動車道伊万里松浦道路（一七・二キロ）のうち、松浦市今福町滑染免から同市志佐町浦免までの約七キロを同市の都市計画道路として決定する議案を審議し承認した。国土交通大臣の同意を受けて正式決定する。

国交省九州地方整備局 調べ三、四年後に着工、長崎河川国道事務所によ、早ければ十年後の供用開始を、伊万里松浦道路は片側一車線の高規格幹線道路（自動車専用）。通行料は無料の予定で、正式決定後は建設ルート調査や測量に入る。調川、志佐各町に一カ所用地交渉などが順調に進

志佐町のICは松浦バの間にあるため、佐賀イパス（現在有料）に連、県伊万里市方面にしか乗結する。また、調川町のり入れができないといICは二つのトンネルう。

早期建設の決議採択

西九州道建設促進決起大会

福岡、佐賀、長崎3県を結ぶ西九州自動車道の建設促進決起大会が21日、伊万里市民センターであり、「北部九州の地域経済発展や生活圏の拡大に欠くことができない広域幹線道路で、一日も早

い建設を促進する必要がある」との決議を採択した。道路沿線の3県自治体でつくる建設促進期成会（会長、坂井俊之・唐津市長）の主催。西九州自動車道は高規格幹線道路網として計画

され、福岡市・福岡県前原市・唐津市・北波多村・伊万里市・長崎県松浦市・佐々町・佐世保市・波佐見町・武雄市の全長約150キロ。現在、全体の約3割の約55キロが部分開通している。

大会には古川康知事、金子原二郎・長崎県知事、武田文男・福岡県副知事や3県選出の国会議員、沿線自治体関係者、住民ら約1000人が参加。来賓として国土交通省の谷口博昭・道路局長や岡山和生・九州整備局長らも出席した。3県の知事や副知事らが「一日も早い完成」を訴え、住民代表も「地域の活性化のためには、西九州自動車道は必要不可欠」と要望した。

【米田和俊】

卷 末 資 料

(客觀的評價指標)

客観的評価指標

政策目標		指標
大項目	中項目	
1.活力	円滑なモビリティの確保	並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率 並行区間の渋滞損失時間(現況):44.0万人時間/年 並行区間の渋滞損失削減率:7割削減
		並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる
		新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる
	物流効率化の支援	特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる
		農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である
		三大都市圏の環状道路を形成する
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
国土・地域ネットワークの構築	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
	当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
	日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
個性ある地域の形成	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
	IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	
	新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2.暮らし	安全で安心できる暮らしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
3.安全	安全な生活環境の確保	並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる
	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する
		並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する
4.環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO ₂ 排出量 CO ₂ 排出削減量:2,066t-CO ₂ /年
		生活環境の改善・保全
	並行区間等における自動車からのNO ₂ 排出削減率 NO ₂ 排出削減率:0.03%	
	並行区間等における自動車からのSPM排出削減率 SPM排出削減率:0.2%	
	並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
その他、環境や景観上の効果が期待される		
5.その他	他のプロジェクトとの関係	他機関との連携プログラムに位置づけられている
	その他	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される

再評価時点における評価指標該当項目

1.について

- ・「伊万里港」及び「唐津港」から長崎島方面へのアクセス向上が見込まれる
- ・「さば」の水揚量全国1位、「まあじ」の水揚量全国2位を誇る松浦港から大都市圏への流通の利便性向上が見込まれる
- ・「伊万里市」と「松浦市」を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する
- ・年間観光客数が100万人を超える伊万里市内の観光施設へのアクセス向上が見込まれる

3.について

- ・国道204号は緊急輸送ネットワークに指定されており、これらの路線が通行止めになった場合の迂回路となる

費用及び便益額算定

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
国道497号	伊万里松浦道路	L=17.2 km	高規格 B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
13,800	2	九州地方整備局

①. 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成18年度		
単純合計	648 億円	163 億円	811 億円
うち残事業分	634 億円	163 億円	797 億円
基準年における 現在価値 (C)	517 億円	60 億円	577 億円
うち残事業分	501 億円	60 億円	560 億円

②. 便益額

	走行時間短縮便益	走行費用短縮便益	交通事故減少便益	合計
基準年	平成18年度			
供用年	平成25年度			
初年便益	17 億円	2 億円	1 億円	19 億円
基準年における 現在価値 (B)	643 億円	63 億円	45 億円	750 億円
うち残事業分	643 億円	63 億円	45 億円	750 億円

③. 費用便益比

費用便益費(事業全体)	1.3
費用便益費(残事業)	1.3

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある。

費用便益額分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	整備主体
一般国道497号	伊万里松浦道路（全事業）	17.2 km	高規格 B	九州地方整備局

交通状況(推計時点 H42年)

トリップの平均像

		整備なし(A)	整備あり(B)	A - B
総トリップ数 (OD表による交通量)	トリップ	3,995,180	3,995,180	0
平均トリップ長 (総走行台キロ÷総トリップ数)	km	9.2	9.2	0.0
平均速度 (総走行台キロ÷総走行時間)	km/h	40.9	41.1	-0.2
平均走行時間 (総走行時間÷総トリップ数)	分	13.5	13.5	0.0
平均走行経費 (総走行経費÷総トリップ数)	円/トリップ	160.1	159.8	0.3

(注) 総トリップ数は原則として、整備なしの場合と整備ありの場合で変化しない。

費用便益額分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	整備主体
一般国道497号	伊万里松浦道路（残事業）	17.2 km	高規格 B	九州地方整備局

交通状況(推計時点 H42年)

トリップの平均像

		整備なし(A)	整備あり(B)	A - B
総トリップ数 (OD表による交通量)	トリップ	3,995,180	3,995,180	0
平均トリップ長 (総走行台キロ÷総トリップ数)	km	9.2	9.2	0.0
平均速度 (総走行台キロ÷総走行時間)	km/h	40.9	41.1	-0.2
平均走行時間 (総走行時間÷総トリップ数)	分	13.5	13.5	0.0
平均走行経費 (総走行経費÷総トリップ数)	円/トリップ	160.1	159.8	0.3

(注) 総トリップ数は原則として、整備なしの場合と整備ありの場合で変化しない。

費用便益額分析の条件

事業名：一般国道497号 伊万里松浦道路

(2)

チェックリスト項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		
	その他		
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成18年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	(H42)
		複数時点での推計	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
		整備の有無のいずれかのみ推計	有 無
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H11センサ)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
		その他()	
	開発交通量の考慮	無	
		有	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した内容理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)			
簡易手法			
簡易手法の場合		小規模事業である 山間部海岸部で、並行道路が少ない その他()	
速度設定の考え方	今回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		
	異なる理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)以下の路線が混在した配分結果となっているため、費用便益分析においては速度差の生じる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度		
	採用理由を記載		
その他()			

費用便益額分析の条件

事業名：一般国道497号 伊万里松浦道路

(3)

		チェックリスト項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	
			対象路線のみ考慮	
			採用した休日係数	() %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	平成15年8月12日付け事務連絡に基づく設定		
	車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		
		独自に設定した値を使用		
		算出根拠を添付すること		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用			
	独自に設定した値を使用			
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮			
	中央分離帯の有無を考慮しない			
時間短縮・費用 減少事故減少以 外の便益	考慮しない			
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				
費 用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用		
		標準投資パターンを採用		
		その他(事業費の投資期間年数分の按分設定)		
	維持管理費	費用便益分析マニュアルの値を使用		
		事務所等の実績値より設定 その他()		
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である。			
その他				
4. その他 上記のほか、B / Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。				

維持修繕費の単純単価の算出（消費税相当額含）

採用単価の根拠：		
単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）
0.27	17.2	4.64

費用の現在価値算定表 【全事業】

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-16年目	H 9	1.4233	0.95	1.35		
-15年目	H 10	1.3686	0.95	1.30		
-14年目	H 11	1.3159	0.95	1.25		
-13年目	H 12	1.2653	1.63	2.07		
-12年目	H 13	1.2167	1.26	1.54		
-11年目	H 14	1.1699	1.04	1.21		
-10年目	H 15	1.1249	0.96	1.08		
-9年目	H 16	1.0816	1.18	1.28		
-8年目	H 17	1.0400	1.79	1.86		
-7年目	H 18	1.0000	3.33	3.33		
-6年目	H 19	0.9615	40.12	38.58		
-5年目	H 20	0.9246	53.47	49.44		
-4年目	H 21	0.8890	79.57	70.74		
-3年目	H 22	0.8548	79.57	68.02		
-2年目	H 23	0.8219	79.57	65.40		
-1年目	H 24	0.7903	79.56	62.88		
供用開始年次	H 25	0.7599	52.33	39.76	1.41	1.07
1年目	H 26	0.7307	52.30	38.22	1.41	1.03
2年目	H 27	0.7026	39.41	27.69	2.08	1.46
3年目	H 28	0.6756	26.11	17.64	2.65	1.79
4年目	H 29	0.6496	26.11	16.96	2.65	1.72
5年目	H 30	0.6246	26.13	16.32	2.65	1.66
6年目	H 31	0.6006			4.42	2.65
7年目	H 32	0.5775			4.42	2.55
8年目	H 33	0.5553			4.42	2.45
9年目	H 34	0.5339			4.42	2.36
10年目	H 35	0.5134			4.42	2.27
11年目	H 36	0.4936			4.42	2.18
12年目	H 37	0.4746			4.42	2.10
13年目	H 38	0.4564			4.42	2.02
14年目	H 39	0.4388			4.42	1.94
15年目	H 40	0.4220			4.42	1.87
16年目	H 41	0.4057			4.42	1.79
17年目	H 42	0.3901			4.42	1.72
18年目	H 43	0.3751			4.42	1.66
19年目	H 44	0.3607			4.42	1.59
20年目	H 45	0.3468			4.42	1.53
21年目	H 46	0.3335			4.42	1.47
22年目	H 47	0.3207			4.42	1.42
23年目	H 48	0.3083			4.42	1.36
24年目	H 49	0.2965			4.42	1.31
25年目	H 50	0.2851			4.42	1.26
26年目	H 51	0.2741			4.42	1.21
27年目	H 52	0.2636			4.42	1.17
28年目	H 53	0.2534			4.42	1.12
29年目	H 54	0.2437			4.42	1.08
30年目	H 55	0.2343			4.42	1.04
31年目	H 56	0.2253			4.42	1.00
32年目	H 57	0.2166			4.42	0.96
33年目	H 58	0.2083			4.42	0.92
34年目	H 59	0.2003			4.42	0.89
35年目	H 60	0.1926			4.42	0.85
36年目	H 61	0.1852			4.42	0.82
37年目	H 62	0.1780			4.42	0.79
38年目	H 63	0.1712			4.42	0.76
39年目	H 64	0.1646	-65.60	-10.80	4.42	0.73
合計			582.70	517.12	163.13	59.57

単純事業費計	648.30	163.13
--------	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持管理費は便益算出マニュアルの参考値を基本として設定。

便益の現在価値算定表【全事業】

箇所名：伊万里松浦道路

年次	総走行台車の年次別伸び率 (北九州ブロック)			走行時間便益(億円)			走行経費便益(億円)			事故損出費用(億円)			合計 (億円)							
	年度	乗用車	貨物車	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	②×(A)×②	現在価値 費用合計 (①)~(③)	現在価値 割引率%			
		H 25	0.99763	0.99865	1.00507	0.7599	8.64	1.25	3.93	2.77	16.59	12.61	0.66	0.06	0.64			0.41	1.77	1.35
1年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	8.71	1.26	3.92	2.77	16.66	12.17	0.66	0.06	0.64	0.41	1.77	1.29	0.82	19.55	14.28
2年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	13.82	1.93	5.88	4.37	25.80	18.13	1.00	0.08	0.92	0.59	2.59	1.82	1.24	30.15	21.19
3年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	17.37	2.41	7.47	5.47	32.72	22.11	1.26	0.10	1.14	0.73	3.23	2.18	1.52	38.20	25.81
4年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	17.83	2.43	7.46	5.46	32.85	21.34	1.27	0.10	1.14	0.73	3.24	2.10	1.47	38.35	24.91
5年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	17.60	2.45	7.45	5.45	32.98	20.80	1.28	0.10	1.14	0.73	3.25	2.03	1.42	38.50	24.05
6年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	25.46	3.51	10.61	7.79	47.37	28.45	1.84	0.13	1.69	1.03	4.69	2.82	1.99	55.37	33.26
7年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	25.85	3.54	10.60	7.78	47.57	27.47	1.85	0.13	1.69	1.03	4.70	2.71	1.92	55.60	32.10
8年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	25.89	3.55	10.56	7.75	47.55	26.40	1.85	0.13	1.68	1.03	4.69	2.80	1.85	55.57	30.85
9年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	25.73	3.56	10.52	7.72	47.53	25.38	1.85	0.13	1.67	1.03	4.68	2.50	1.78	55.54	29.66
10年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	25.77	3.57	10.48	7.69	47.51	24.39	1.85	0.13	1.66	1.03	4.67	2.40	1.71	55.51	28.50
11年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	25.81	3.58	10.44	7.66	47.49	23.44	1.85	0.13	1.65	1.03	4.66	2.30	1.64	55.48	27.38
12年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	25.85	3.59	10.40	7.63	47.47	22.53	1.85	0.13	1.64	1.03	4.65	2.21	1.58	55.45	26.32
13年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	25.89	3.60	10.36	7.60	47.45	21.66	1.85	0.13	1.63	1.03	4.64	2.12	1.52	55.42	25.30
14年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	25.93	3.61	10.32	7.57	47.43	20.81	1.85	0.13	1.62	1.03	4.63	2.03	1.46	55.39	24.30
15年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	25.97	3.62	10.28	7.54	47.41	20.01	1.85	0.13	1.61	1.03	4.62	1.95	1.41	55.36	23.37
16年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	26.01	3.63	10.24	7.51	47.39	19.23	1.85	0.13	1.60	1.03	4.61	1.87	1.35	55.33	22.45
17年目	H 42	0.99890	0.99472	0.99633	0.3901	26.05	3.64	10.20	7.48	47.37	18.48	1.85	0.13	1.59	1.03	4.60	1.79	1.30	55.30	21.57
18年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	25.97	3.63	10.15	7.44	47.19	17.70	1.84	0.13	1.58	1.02	4.57	1.71	1.25	55.08	20.66
19年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	25.89	3.62	10.10	7.40	47.01	16.96	1.83	0.13	1.57	1.01	4.54	1.64	1.19	54.86	19.79
20年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	25.81	3.61	10.05	7.36	46.83	16.24	1.82	0.13	1.56	1.00	4.51	1.56	1.14	54.64	18.94
21年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	25.73	3.60	10.00	7.32	46.65	15.56	1.81	0.13	1.55	0.99	4.48	1.49	1.10	54.42	18.15
22年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	25.65	3.59	9.95	7.28	46.47	14.90	1.80	0.13	1.54	0.98	4.45	1.43	1.05	54.20	17.38
23年目	H 48	0.99684	0.99456	0.99625	0.3083	25.57	3.58	9.90	7.24	46.29	14.27	1.79	0.13	1.53	0.97	4.42	1.36	1.01	53.98	16.64
24年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	25.49	3.57	9.85	7.20	46.11	13.67	1.78	0.13	1.52	0.96	4.39	1.30	0.97	53.76	15.94
25年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	25.41	3.56	9.80	7.16	45.93	13.09	1.77	0.13	1.51	0.95	4.36	1.24	0.93	53.54	15.26
26年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	25.33	3.55	9.75	7.12	45.75	12.54	1.76	0.13	1.50	0.94	4.33	1.19	0.89	53.32	14.62
27年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	25.25	3.54	9.70	7.08	45.57	12.01	1.75	0.13	1.49	0.93	4.30	1.13	0.85	53.10	13.99
28年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	25.16	3.53	9.67	7.06	45.42	11.51	1.74	0.13	1.49	0.93	4.29	1.09	0.82	52.93	13.42
29年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	25.07	3.52	9.64	7.04	45.27	11.03	1.73	0.13	1.49	0.93	4.28	1.04	0.78	52.76	12.85
30年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	24.98	3.51	9.61	7.02	45.12	10.57	1.72	0.13	1.49	0.93	4.27	1.00	0.75	52.59	12.32
31年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	24.89	3.50	9.58	7.00	44.97	10.13	1.71	0.13	1.49	0.93	4.26	0.96	0.72	52.42	11.81
32年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	24.80	3.49	9.55	6.98	44.82	9.71	1.70	0.13	1.49	0.93	4.25	0.92	0.69	52.25	11.32
33年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	24.71	3.48	9.52	6.96	44.67	9.30	1.69	0.13	1.49	0.93	4.24	0.88	0.66	52.08	10.84
34年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	24.62	3.47	9.49	6.94	44.52	8.92	1.68	0.13	1.49	0.93	4.23	0.85	0.63	51.91	10.40
35年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	24.53	3.46	9.46	6.92	44.37	8.55	1.67	0.13	1.49	0.93	4.22	0.81	0.61	51.74	9.97
36年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	24.44	3.45	9.43	6.90	44.22	8.19	1.66	0.13	1.49	0.93	4.21	0.78	0.58	51.57	9.55
37年目	H 62	0.99620	0.99686	0.99637	0.1780	24.35	3.44	9.40	6.88	44.07	7.84	1.65	0.13	1.49	0.93	4.20	0.75	0.56	51.40	9.15
38年目	H 63	0.99618	0.99685	0.99635	0.1712	24.26	3.43	9.37	6.86	43.92	7.52	1.64	0.13	1.49	0.93	4.19	0.72	0.53	51.23	8.77
39年目	H 64	0.99617	0.99684	0.99634	0.1646	24.17	3.42	9.34	6.84	43.77	7.20	1.63	0.13	1.49	0.93	4.18	0.69	0.51	51.06	8.40
合計(H25~H64)						945.36	132.28	374.43	274.01	1,726.08	642.82	66.49	4.92	58.58	36.87	166.86	62.61	45.04	2,014.38	750.27

維持修繕費の単純単価の算出（消費税相当額含）

採用単価の根拠：		
単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）
0.27	17.2	4.64

費用の現在価値算定表【残事業】

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-16年目	H 9	1.4233				
-15年目	H 10	1.3686				
-14年目	H 11	1.3159				
-13年目	H 12	1.2653				
-12年目	H 13	1.2167				
-11年目	H 14	1.1699				
-10年目	H 15	1.1249				
-9年目	H 16	1.0816				
-8年目	H 17	1.0400				
-7年目	H 18	1.0000				
-6年目	H 19	0.9615	40.12	38.58		
-5年目	H 20	0.9246	53.47	49.44		
-4年目	H 21	0.8890	79.57	70.74		
-3年目	H 22	0.8548	79.57	68.02		
-2年目	H 23	0.8219	79.57	65.40		
-1年目	H 24	0.7903	79.56	62.88		
供用開始年次	H 25	0.7599	52.33	39.76	1.41	1.07
1年目	H 26	0.7307	52.30	38.22	1.41	1.03
2年目	H 27	0.7026	39.41	27.69	2.08	1.46
3年目	H 28	0.6756	26.11	17.64	2.65	1.79
4年目	H 29	0.6496	26.11	16.96	2.65	1.72
5年目	H 30	0.6246	26.13	16.32	2.65	1.66
6年目	H 31	0.6006			4.42	2.65
7年目	H 32	0.5775			4.42	2.55
8年目	H 33	0.5553			4.42	2.45
9年目	H 34	0.5339			4.42	2.36
10年目	H 35	0.5134			4.42	2.27
11年目	H 36	0.4936			4.42	2.18
12年目	H 37	0.4746			4.42	2.10
13年目	H 38	0.4564			4.42	2.02
14年目	H 39	0.4388			4.42	1.94
15年目	H 40	0.4220			4.42	1.87
16年目	H 41	0.4057			4.42	1.79
17年目	H 42	0.3901			4.42	1.72
18年目	H 43	0.3751			4.42	1.66
19年目	H 44	0.3607			4.42	1.59
20年目	H 45	0.3468			4.42	1.53
21年目	H 46	0.3335			4.42	1.47
22年目	H 47	0.3207			4.42	1.42
23年目	H 48	0.3083			4.42	1.36
24年目	H 49	0.2965			4.42	1.31
25年目	H 50	0.2851			4.42	1.26
26年目	H 51	0.2741			4.42	1.21
27年目	H 52	0.2636			4.42	1.17
28年目	H 53	0.2534			4.42	1.12
29年目	H 54	0.2437			4.42	1.08
30年目	H 55	0.2343			4.42	1.04
31年目	H 56	0.2253			4.42	1.00
32年目	H 57	0.2166			4.42	0.96
33年目	H 58	0.2083			4.42	0.92
34年目	H 59	0.2003			4.42	0.89
35年目	H 60	0.1926			4.42	0.85
36年目	H 61	0.1852			4.42	0.82
37年目	H 62	0.1780			4.42	0.79
38年目	H 63	0.1712			4.42	0.76
39年目	H 64	0.1646	-65.60	-10.80	4.42	0.73
合計			568.66	500.84	163.13	59.57

単純事業費計	634.26	163.13
--------	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

注3) 維持管理費は便益算出マニュアルの参考値を基本として設定。

便益の現在価値算定表【残事業】

箇所名:伊万里松浦道路

年次 供用開始年次 1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 13年目 14年目 15年目 16年目 17年目 18年目 19年目 20年目 21年目 22年目 23年目 24年目 25年目 26年目 27年目 28年目 29年目 30年目 31年目 32年目 33年目 34年目 35年目 36年目 37年目 38年目 39年目 合計(H25~H64)	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)		割引率 (A)	走行時間便益(億円)					走行経費便益(億円)					事故損失費用(億円)			合計			
	乗用車	貨物車		全車	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率%
H 25	1,007,63	0,998,65	1,005,07	0,7569	8,64	1,25	3,93	2,77	16,59	12,61	0,66	0,06	0,64	0,41	1,77	1,35	1,11	0,84	19,47	14,80
H 26	1,007,57	0,998,65	1,005,04	0,7307	8,71	1,26	3,92	2,77	16,66	12,17	0,66	0,06	0,64	0,41	1,77	1,29	1,12	0,82	19,55	14,28
H 27	1,007,51	0,998,65	1,005,02	0,7026	13,62	1,33	5,88	4,37	25,80	18,13	1,00	0,08	0,92	0,59	2,59	1,82	1,76	1,24	30,15	21,19
H 28	1,007,46	0,998,64	1,004,99	0,6756	17,37	2,41	7,47	5,47	32,72	22,11	1,26	0,10	1,14	0,73	3,23	2,18	2,25	1,52	38,20	25,81
H 29	1,007,40	0,998,64	1,004,97	0,6497	17,50	2,43	7,46	5,46	32,85	21,34	1,27	0,10	1,14	0,73	3,24	2,10	2,26	1,47	38,35	24,91
H 30	1,007,35	0,998,64	1,004,94	0,6246	17,63	2,45	7,45	5,45	32,98	20,60	1,28	0,10	1,14	0,73	3,25	2,03	2,27	1,42	38,50	24,05
H 31	1,007,29	0,998,64	1,004,92	0,6006	25,46	3,51	10,61	7,79	47,37	28,45	1,84	0,13	1,69	1,03	4,69	2,82	3,31	1,99	55,37	33,26
H 32	1,001,57	0,995,95	1,000,04	0,5775	25,65	3,54	10,60	7,78	47,57	27,47	1,85	0,13	1,69	1,03	4,70	2,71	3,33	1,92	55,60	32,10
H 33	1,001,57	0,995,94	1,000,04	0,5553	25,69	3,55	10,56	7,75	47,55	26,40	1,85	0,13	1,68	1,03	4,69	2,60	3,33	1,85	55,57	30,85
H 34	1,001,56	0,995,92	1,000,04	0,5339	25,73	3,56	10,52	7,72	47,53	25,38	1,85	0,13	1,67	1,03	4,68	2,50	3,33	1,78	55,54	29,66
H 35	1,001,56	0,995,90	1,000,04	0,5134	25,77	3,57	10,48	7,69	47,51	24,39	1,85	0,13	1,66	1,03	4,67	2,40	3,33	1,71	55,51	28,50
H 36	1,001,56	0,995,89	1,000,04	0,4936	25,81	3,58	10,44	7,66	47,49	23,44	1,85	0,13	1,65	1,03	4,66	2,30	3,33	1,64	55,48	27,38
H 37	1,001,56	0,995,87	1,000,04	0,4746	25,85	3,59	10,40	7,63	47,47	22,53	1,85	0,13	1,64	1,03	4,65	2,21	3,33	1,58	55,45	26,32
H 38	1,001,56	0,995,85	1,000,04	0,4564	25,89	3,60	10,36	7,60	47,45	21,66	1,85	0,13	1,63	1,03	4,64	2,12	3,33	1,52	55,42	25,30
H 39	1,001,55	0,995,84	1,000,04	0,4388	25,93	3,61	10,32	7,57	47,43	20,81	1,85	0,13	1,62	1,03	4,63	2,03	3,33	1,46	55,39	24,30
H 40	1,001,55	0,995,82	1,000,04	0,4220	25,97	3,62	10,28	7,54	47,41	20,01	1,85	0,13	1,61	1,03	4,62	1,95	3,33	1,41	55,36	23,37
H 41	1,001,55	0,995,80	1,000,04	0,4057	26,01	3,63	10,24	7,51	47,39	19,23	1,85	0,13	1,60	1,03	4,61	1,87	3,33	1,35	55,33	22,45
H 42	0,996,90	0,994,72	0,996,33	0,3901	26,05	3,64	10,20	7,48	47,37	18,48	1,85	0,13	1,59	1,03	4,60	1,79	3,33	1,30	55,30	21,57
H 43	0,996,89	0,994,69	0,996,32	0,3751	25,97	3,63	10,15	7,44	47,19	17,70	1,84	0,13	1,58	1,02	4,57	1,71	3,32	1,25	55,08	20,66
H 44	0,996,88	0,994,67	0,996,30	0,3607	25,89	3,62	10,10	7,40	47,01	16,96	1,83	0,13	1,57	1,01	4,54	1,64	3,31	1,19	54,86	19,79
H 45	0,996,87	0,994,64	0,996,29	0,3468	25,81	3,61	10,05	7,36	46,83	16,24	1,82	0,13	1,56	1,00	4,51	1,56	3,30	1,14	54,64	18,94
H 46	0,996,86	0,994,61	0,996,28	0,3335	25,73	3,60	10,00	7,32	46,65	15,56	1,81	0,13	1,55	0,99	4,48	1,49	3,29	1,10	54,42	18,15
H 47	0,996,85	0,994,58	0,996,26	0,3207	25,65	3,59	9,95	7,28	46,47	14,90	1,80	0,13	1,54	0,98	4,45	1,43	3,28	1,05	54,20	17,38
H 48	0,996,84	0,994,55	0,996,25	0,3083	25,57	3,58	9,90	7,24	46,29	14,27	1,79	0,13	1,53	0,97	4,42	1,36	3,27	1,01	53,98	16,64
H 49	0,996,83	0,994,52	0,996,23	0,2965	25,49	3,57	9,85	7,20	46,11	13,67	1,78	0,13	1,52	0,96	4,39	1,30	3,26	0,97	53,76	15,94
H 50	0,996,82	0,994,49	0,996,22	0,2851	25,41	3,56	9,80	7,16	45,93	13,09	1,77	0,13	1,51	0,95	4,36	1,24	3,25	0,93	53,54	15,26
H 51	0,996,81	0,994,46	0,996,21	0,2741	25,33	3,55	9,75	7,12	45,75	12,54	1,76	0,13	1,50	0,94	4,33	1,19	3,24	0,89	53,32	14,62
H 52	0,996,84	0,996,95	0,996,50	0,2636	25,25	3,54	9,70	7,08	45,57	12,01	1,75	0,13	1,49	0,93	4,30	1,13	3,23	0,85	53,10	13,99
H 53	0,996,82	0,996,95	0,996,48	0,2534	25,16	3,53	9,67	7,06	45,42	11,51	1,74	0,13	1,49	0,93	4,29	1,09	3,22	0,82	52,93	13,42
H 54	0,996,81	0,996,94	0,996,47	0,2437	25,07	3,52	9,64	7,04	45,27	11,03	1,73	0,13	1,49	0,93	4,28	1,04	3,21	0,78	52,76	12,85
H 55	0,996,80	0,996,93	0,996,46	0,2343	24,98	3,51	9,61	7,02	45,12	10,57	1,72	0,13	1,49	0,93	4,27	1,00	3,20	0,75	52,59	12,32
H 56	0,996,78	0,996,92	0,996,45	0,2253	24,89	3,50	9,58	7,00	44,97	10,13	1,71	0,13	1,49	0,93	4,26	0,96	3,19	0,72	52,42	11,81
H 57	0,996,77	0,996,91	0,996,44	0,2166	24,80	3,49	9,55	6,98	44,82	9,71	1,70	0,13	1,49	0,93	4,25	0,92	3,18	0,69	52,25	11,32
H 58	0,996,75	0,996,90	0,996,42	0,2083	24,71	3,48	9,52	6,96	44,67	9,30	1,69	0,13	1,49	0,93	4,24	0,88	3,17	0,66	52,08	10,84
H 59	0,996,74	0,996,89	0,996,41	0,2003	24,62	3,47	9,49	6,94	44,52	8,92	1,68	0,13	1,49	0,93	4,23	0,85	3,16	0,63	51,91	10,40
H 60	0,996,73	0,996,88	0,996,39	0,1926	24,53	3,46	9,46	6,92	44,37	8,55	1,67	0,13	1,49	0,93	4,22	0,81	3,15	0,61	51,74	9,97
H 61	0,996,71	0,996,87	0,996,38	0,1852	24,44	3,45	9,43	6,90	44,22	8,19	1,66	0,13	1,49	0,93	4,21	0,78	3,14	0,58	51,57	9,55
H 62	0,996,70	0,996,86	0,996,37	0,1780	24,35	3,44	9,40	6,88	44,07	7,84	1,65	0,13	1,49	0,93	4,20	0,75	3,13	0,56	51,40	9,15
H 63	0,996,68	0,996,85	0,996,35	0,1712	24,26	3,43	9,37	6,86	43,92	7,52	1,64	0,13	1,49	0,93	4,19	0,72	3,12	0,53	51,23	8,77
H 64	0,996,67	0,996,84	0,996,34	0,1646	24,17	3,42	9,34	6,84	43,77	7,20	1,63	0,13	1,49	0,93	4,18	0,69	3,11	0,51	51,06	8,40
合計(H25~H64)					945,36	132,28	374,43	274,01	1,726,08	642,62	66,49	4,92	58,58	36,87	166,86	62,61	121,44	45,04	2,014,38	750,27